（明治四十二年九月十日第三種郵便物認可）（年中無休刊發行）

京城日報

十二日夕刊

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五拾五錢　三ヶ月前金一圓六十五錢　六ヶ月分前金三圓二十錢　郵稅一ヶ月分二十錢　郵券代用二割增

廣告料　五號活字十六字詰壹行金八拾錢　二號活字八字詰壹行金壹圓六拾錢　三號活字同上　四號活字十字詰壹行金四拾錢　六號活字廿一字詰壹行金七拾錢

發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
京城太平通一丁目
發行所　合資會社　京城日報社
電話番號　編輯用三四五番　營業用三二六番　一二四番
振替貯金口座京城三〇六〇〇番

支那の形勢

▲議會の質問戰激烈

十一日の支那議會は夜半に至り漸く散會せり門外に雲集せる暴動に就き議員の質問激烈を極め竟に宣戰案の討議に入る能はず段總理は全く進退に窮し爲す所を知らず（北京電報）

▲段內閣の危機迫る

議會解散を斷行せん

民黨側は十一日午後より更に段內閣彈劾に就き協議會を開く筈なるが十日夜の出來事に依り段總理の人望甚だしく減じ政府黨の議員にすら段內閣を倒すべしと叫ぶ者續々現はれたれば段內閣の運命は愈々旦夕に迫りたる感あり段氏或は大決心を以て議會解散を爲すやも知れず（北京特電）

▲段總理善後策協議

十一日朝段總理は重立ちたる政府黨議員並に督軍等を國務院に召集し善後策を協議中なり（北京特電）

▲谷張兩總長の辭職

谷農商總長張司法總長は衆議院に押し寄せたる請願團事件の責を擔ひて辭職せり（北京特電）

▲支那閣僚中段總理の態度を憤慨し辭表を提出する者頻々たり（北京電報）

◎聯合國側社會黨大會

英國下院の勞働黨幹部會はストックホルムの社會黨大會に出席を拒絕し別に來る六月聯合國側勞働黨及び社會黨大會を倫敦に開催する手筈を爲すに決定せり（倫敦電報）

◎露國々外追放廢止

新政府は國外追放の刑を廢し三箇年間禁錮は再刑罰を以て是に代ふるの法令を發したり（露都電報）

◎露國社會黨の拒絕

社會黨及び極端黨員はスカンヂナビアに於ける勞働諸黨を代表せる丁抹人ボルグブジエルグよりのストックホルムに於ける社會黨大會に招待の件を討議せるが發案者が獨逸政府側の社會黨と同意見を抱き居るの故を以て露國社會黨は之に列席せずと決議せり（露都電報）

◎憲法制定議員選擧

新政府は十一名の委員を指定し憲法制定議會出席議員選擧方針を起草せしむる事とせり（露都電報）

◎國際社會黨大會計畫

勞働者軍隊代表者幹部は中立國に於て開催すべき國際社會黨大會を發議する事を決議したり（露都電報）

◎拓殖局設置乎

政府は拓殖省に代り拓殖局を設置す可く而して規模は大なる可しと傳へらる（東京電報）

◎住友銀行增資

住友銀行は千五百萬圓を倍額即ち三千萬圓に增資する事に決せり（大阪特電）

◎京都會議所會頭

京都商業會議所會頭濱岡光哲氏十二日朝高麗丸にて來鮮直ちに平壤へ（釜山特電）

◎淺倉中學生來鮮

福岡縣立淺倉中學校職員生徒九十七名は十二日朝釜山に上陸し十二時半發列車にて大邱に向へるが十三日仁川を經て京城に向ひ同地二泊の豫定（釜山特電）

◎鮮人學校開設

朝鮮服宇根氏が豫ねて提唱奔走中の在滿の鮮人教育機關設立案は酒句鐵嶺領事其他の盡力にて外務省、關東都督府朝鮮總督府及滿鐵會社の補助を受くる事となり愈々鐵嶺育英學校なる者を開設し十日午前十時開校式を擧行せり校長には服宇根氏を推し近く朝鮮より專任教師一名來任すべく而して學科は日支兩語の外地歷數學等なりと（奉天）

◎總督御見舞

李王殿下は咸興に安着せられたるを以て長谷川總督は十二日朝閔李王職長官を經て殿下の御安著を祝し尙ほ一路平安御歸還の程を待ち居る旨の電報を發せり

◎總督賞品寄贈

龍山在鄉軍人分會にては十三日春季大會を開催するより長谷川總督は同日朝[illegible]武官を代理臨席せしめ尙ほ會員の射擊擊劍等に就き優勝者には總督より賞品を授與すべし

◎取引禁と船舶主

總督府にては對敵取引禁止令施行に關する府令を改正せり、這は本令第一條第二項に船舶所有者の外國に於ける各自の取引に付ては只だ最寄帝國領事館の認可を經出す可き旨を追加せるものにして對敵取引禁止令施行の日より實施の事となれり

◎監獄官會議

總督府にては監獄監督官を召集し十四日より六日間總督府第二會議室に於て鮮內監獄監督官會議を開催の事に決せり、出席者は各監獄典獄並に各覆審法院檢事長なり

◎公有水面埋築許可

從來全北群山府は運輸交通の發達に伴ひ貨物の集散日に繁激を加へ而かも未だ貨物陸揚場の完備したるもの無かりしを遺憾とせしが這般同府大澤藤十郎氏外十九名に由りて之が建設の議成り西濱町北側地先の公有水面一千五百七坪餘の埋築工事出願中の所今回海陸連絡貨物陸揚場として其筋より許可ありたりと

◎秋山大將歸任

軍司令官秋山好古大將は松井高級參謀千輪副官を隨へ南鮮各地駐屯隊巡閱中なりしが十二日午後大邱發同八時五十分龍山著列車にて山梨教育總監部本部長と同車歸任す

◎山梨中將動靜

朝鮮駐劄軍教育狀況視察のため來鮮せる山梨教育本部長は谷大尉を隨へ十二日午後一時二十三分發急行列車にて北行同日午後九時著京天眞樓に投宿の豫定なり十四日より十六日に至る三日間龍山駐屯諸部隊の教育狀態を視察し十七日第十九師團阪參謀を隨へ元山より漸次北鮮地方を視察する豫定なりと

◎鮮銀總裁歸期

西朝鮮及び國境地方視察中の鮮銀總裁美濃部俊吉氏曾根秘書役山本司事一行は十二日夜歸京の豫定なりしも都合により十三日午前八時南大門驛著列車にて歸任の旨銀行に電報ありたりと

◎芳澤參事官歸朝

北京日本公使館芳澤參事官は母堂危篤の報に接し十二日出發京奉線にて滿洲經由歸國す

◎高瀨理事歸京

東拓金融部長高瀨理事は十二日夜歸任の筈なりしも一日遲れ十三日午後歸京の由

◎選擧名簿縱覽

今回京城府にて學校組合議員選擧有資格者と確定せるもの五千八百名の名簿は去る十日より府廳にて一般關係者の閱覽に供し居れるが來る十六日を以つて縱覽期間は結了する筈なり仍つて右名簿に關し異議あるもの（譬へば自己の年齢居住、納稅額等凡そ有資格者たる條件を具備せるにも拘はらず該名簿に自己の姓名記載無き等の場合）は右縱覽期間內に其旨申出づべし府當局は申出ありたる場合に限り審議調査すべく若し何等申出なき時は今回調査決定したる選擧名簿五千八百名以外に有資格者無きものと認むべし

◎龍山軍人會總會

在鄉軍人會龍山分會にては十三日午前十時より龍山陸軍射擊場（京城衞戍病院東方）に於て分會春季總會を左の順序にて開催する由尙ほ雨天なれば射擊を中止し午前九時龍山偕行社に集合次第書の通り擧行する由

一、分會長開會の辭二、勅諭奉讀三、射擊に關する注意四、射擊開始五、銃劍術六、現役將校の講話七、支部長訓示八、分會長閉會の辭九、庶務及會計報告一〇、賞品授與式一一、宴會一二、解散

◎燒酎釀造見込高

從來平南に於ける朝鮮酒の製造者は內地人田中周助氏の漢湖商會を經營せるに過ぎず其他は鮮人の小資本家又は婦人の內職にせる位に止りしが新稅令施行後漸く堅實ある中產者の釀造業を起す者增加し殊に內地人に在りても斯業の前途に嘱目する者多く現に該稅令施行後平壤に於て江崎、增井の兩工場の開始を見るなど朝鮮酒の釀造界は漸く堅實となれりと（平壤）

◎亞麻栽培良績

北海道產に比し優秀

平南道種苗場に於ては豫ねて北海道の帝國製麻會社の委託に依り各種の亞麻を栽培し生產物は同社に送り同社技術員に於て加工試驗の結果外觀美ならざるも內容優秀にして殊に纖質は北海道產に比し幾分良好なる由にて將來旱害に對する豫防宜しきを得ば極て優良の亞麻を產す可しと（平壤）

◎平南の洞里廢合

平南の洞里廢合は著々進行し別項の如く最近价川郡內の廢合を完了せるが尙未濟の郡は德川、順川、成川、陽德の四郡にして何れも調査中なれば近く確定發布を見るべしと（平壤）

◎出稼鮮人增加

例年解氷期に入れば內地又は南鮮地方より內鮮人の北鮮に入込むもの增加するを常とせるが本年も解氷期なる四月上旬より來北者頓に增加し四月中に於ける淸津港出入旅客を見るに入港者は二千四百三十一人なるに出港者は僅に一千三百六十八人に過ぎずして入港者は出港者より一千七十一人の多きを示せるが此等は何れも淸津以北の咸北道及び間島地方に入込みたるものとす（淸津）

◎咸北の大鐵鑛

咸北茂山郡茂山邑附近に於て昨年中谷地某が發見の大鐵鑛山は過般三菱系に於て實地調査の結果非常に有望なる爲め直に賃鑛契約成立するに至り最早賃鑛者に於て鑛床調査並に搬出方法等に關する調査を遂げたりと云へば近き將來に於て採鑛に著手せらるゝに至るべきが茂山附近には此外尙ほ數區の鑛區あり何れも三菱系に於いて出願中なるが其鑛區面積の廣大さ鑛量の豐富なるとは頗る囑望に値すべく將來咸南の甲山銅鑛と併稱さるゝに至るべしと（淸津）

◎晉州の軍司令官

各地巡閱中なりし秋山軍司令官は九日午前十一時自動車にて馬山より晉州に來著佐々木道長官、水間警務部長、守備隊將校等多數の出迎を受け望月旅館に投宿せるが十日晉州守備隊の檢閱をなし十一日馬山に向へり（晉州）

◎棉作十周年と木浦

棉作十周年記念會は豫て十二、十三の兩日木浦に於て擧行する筈なるが會場は松島公園に建設したる記念碑の除幕式を行ひ且つ祝賀會を開催する筈なるが何しろ棉花は木浦の生命にして近く資本金百萬圓の紡織會社さへ設立せられんとする情勢にあるんで市民は熱狂して此日を祝福すべく各町共競て綠門又は彩旗を以て裝飾し餘興として藝妓の手踊、二〇加等を催すべし記念會に於ては棉作功勞者に記念品を贈與し一般參列者には棉花栽培記念誌、寺內伯及び山縣政務總監揮毫の扇面一對宛を贈呈する筈なるが尙ほ十二日は木浦新報社に於ても棉作組合表彰式を行ひ夜間は常盤座に於て活動寫眞を映寫し參列者を招待する等記念會と相俟つて木浦空前の賑ひなり因みに陸地棉の發祥地は對岸高下島にして現在本道棉作反別は四萬數千町步產額三千萬斤なり（木浦）

南北滿洲

西海生

東洋的の長春

▼大連が南滿の玄關なら、長春は南滿洲の裏口で、咽喉である、從つて此地は南北滿洲の大平野を腹背に有し、南は滿鐵本線の終點で、北は北歐に通ずる東清枝線の發端である、更に右に吉長鐵道を延ばして、吉林を提げ、左に蒙古の大平野を展開さしてゐる、長春の位置と云ふものは、慥に東洋的と云ふ文字を冠して恥かしからぬ土地だ

▼長春の日本街は明治四十年以降に出來たものだが、今は人口四千餘を有し對支那人貿易を盛んにやつてゐる、而して支那街も約九十年前の創設に係り、滿洲平野中の樞要なる土地と云ふ所から支那人の大集團を見たのであるらしい又極東露西亞の勢力も茲迄南下してゐるのだから、長春は日露支三國勢力の接觸地とも見る事が出來る、日本商人並に支那商人に有力者少なからず、殊に支那商人に粒揃ひの資產家が多く、貨物の集散非常に活潑である

▼通貨の如きも邦貨たる鮮銀正金の銀行券は勿論露貨の勢力も偉大なものがあり、支那の吉林官帖や大洋小洋票可なり複雜してゐる、長春の信託取引所では貨幣の賣買取引をやり毎日鮮貨と大洋小洋の銀相場の公定建値を發表してゐるが、其の一日の賣買は露貨及び銀を合して百五十萬圓にも上り、其の露貨の相場の如きは哈爾賓に常に影響を及ぼす程の勢力を有してゐると云ふ

▼長春驛の發著貨物は年額南北總計八十萬噸にも上る、其內の五割以上は特產の大豆である何でも多期の特產出廻最盛期には、長春驛の貨物收入のみで一日五萬圓にも及ぶ事があるらしい、何しろ東洋的の位置にある土地だけ其の各方面の數字も慥に東洋的である

▼市況の近狀を聞くと、特產物の出廻りが一段落ついて、目下稍落ち著き氣味である、又內地人側の新事業は新設の金澤紡績會社が長春分工場を設置する目論見を發表し、既に其の敷地の撰定なども終つたと云ふ、內容はまだよく分らぬけれど、金澤の會社で紡いだ糸を長春に持つて來て、支那人向きの製織をやらうとするのらしい、其他に煙草工場設置など云ふ計畫もあるが、計畫丈けで、まだ取りとめた要領は聞く事が出來なかつた

▼此頃問題となつてゐる東滿鐵道の南半部を露西亞から日本が讓渡を受けた場合、滿鐵の北端乃ち聯絡地點は老少溝あたりに移るであらうか右に付長春の有力者は語る

▼滿鐵の北端が老少溝に延べば、恐らく若干の惡影響は長春に及ぶであらう、然し長春の日支人街と云ふ者は滿鐵の北端であるため繁昌して形成されてゐるものでない、乃ち吉林と蒙古を左右に面して南北滿洲の大平野を前後に有し其の特產物の集散し又其の地方の消費品を供給するためである、從つて滿鐵の北上と云ふ事は、無論、長春の爲に聲を大にして悲しむべき問題ではあるまい

▼況んや四平街鄭家屯間の鐵道工事も段々捗どれば長春のためには益々繁榮を助くるのである、その他帝國の手に敷設權を收めてゐる所謂滿蒙五鐵道なるものも、早晚其の著手を見るに至るだらう、其の外近き將來に於て長春の位置を最も有力ならしむるものは吉林會寧間の鐵道敷設實現で、これが實際となつて現はるれば、一路裏朝鮮にも其の動脈を有する事となり、實に四通の要衝となる、長春の前途何ぞ悲觀を要せんやである

▼聞いて見ると、小生も成程と首肯せざるを得なかつた、第一云ふ事が大きい、大言には空疎の分子が兎もすれば多く混るものだ、然し右の長春の大言は皆確乎とした事實に基づいた傾聽すべき豫想である、長春の前途は誠に多望と云つてよい

【仁川】

▲茂木氏歸任　東上中なりし日本醬油會社茂木支配人は十一日午後十時著列車にて歸任したり▲觀覽席全部提供濟　聯合運動會の一二三等觀覽席は十二日午前中に全部提供濟みとなりたり▲運動會寄附　仁川各校聯合運動會に對し金品を寄附したる人名左の如し▲金二圓宛　宮町三浪▲稅關西川麻五郎▲稅關谷野文之進▲宮町山田館▲五圓　稅關櫻井小一▲各一圓宛　仲町岡田助五郎▲京城鳥川晙▲六十一圓　宮町橋本文治郎▲商品券五組　本町吉田商店▲糸卷三百個　宮町橋本文治郎▲雜記帳百冊　宮町吉川龜太郎▲雜記帳八冊、インキ、鉛筆等　宮町松盛堂▲吉田式文具箱十個　寺町文泉堂▲雜記帳三十冊、鉛筆十個　新町來山仁成堂▲金二圓　丁致昶▲二圓　松元署長▲同ヘンケル▲同上月▲金五圓　小野政太郎▲金三圓　魚仲買▲同客主團合所▲同　張廣三▲二圓　ベンチット▲同末長省二▲同　ヘンセル▲金五圓　中華民國總領事▲同張領事　同シャーパン

【鎭南浦】

▲鮮銀披露宴　鮮銀鎭南浦支店長交替披露宴は久保田宗像兩支店長交替披露宴は入日午後入時より朝日館に於て開催せられたるが招客凡て七十餘名盛況を呈したり▲茶話會　同會に於ては福岡檢事及び久保田宗像兩支店長の送迎會を七日夜玉屋に於て開催せり▲貿易額と出港船　五月六日に於ける本年中の貿易額累計は三百七十六萬圓に達し前年に比し約百萬圓の增加を示したり但し出港船數は解氷期遲延の遠因なきにあらねど五月六日の累計三十一隻を數へたるに過ぎざるは船腹不足の結果と見るべく是を前年に比するに三十四隻減の振合なり

【群山】

▲匿名組合　群山穀物商組合に關し當業關係者等は五日午前群山米穀組合樓上に會合し恰も來群中なりし大久保第一部長立花技師の外天野府尹朴沃誹郡守も臨席ありて終日熟議する處ありたるが何等決定を見ざりしもの如し▲客月貿易　群山港四月中輸移出入貿易額は輸移入品中五千圓以上に達せしものは粟五千零四十一圓小麥粉八千二百零一圓食鹽二萬三千百六十五圓砂糖八千三百十八圓石油五千百三十八圓絹織糸一萬二千五百七十七圓生金巾シーチング一萬零二百十四圓日本木綿五千五百二十六圓雜貨五千百零二圓等にして外合計總額二十萬一千四百九十圓にして輸移出品にては米穀五十八萬六千二百七十三圓大豆一萬三千零二十三圓棉花二萬一千五百八十圓重石鑛八萬圓牛皮七千零六十二圓外合計總額七十一萬三千七百七十七圓なりし▲普校記念會　群山公立普通學校は來る五月十一日を以て開校十週年に相當するを以て開校當初より勤續十年一日の如く努力盡瘁し同校現在の隆盛を致さしめたる校長桑島謙三郎氏は校員を指揮し祝賀式を兼ね記念學藝品展覽會開催の準備中にて祝賀行事豫定は十一、十二、十三日の三日間學藝品展覽會を開き第一日午後職員生徒の旗行列を行ひ第三日午前祝賀式擧行午後校庭に於て運動會を開催すべしと

【光州】

▲宮本長官歸任　管內巡視中なりし宮本全羅南道長官は八日午後三時を以て同廳より歸任したり▲鹽澤警務部長　著任後第一回の管內巡視として七日出發せしが來る十九日を以て歸任する筈なり▲前田院長送別會　今回平壤地方法院長に榮轉したる元光州法院長前田信兆氏の爲め光州官民有志は十五日午後六時半より北村樓にて盛大なる送別會を開くべしと▲又復鳥貝發見　高興郡道陽面得良里附近沿海に於て又復鳥貝を發見せしが餘程濃密に棲息せるもの如く目下の從業船六十隻漁獲高は每日一隻にて十五桶位にして今迄に移出せしもの一千四百九十九貫價格二千七百九十七圓なりと前途有望の爲め日々漁船數を增加しつゝあり▲軍人分會長　六日光州在鄉軍人會光州分會春季總會を光州公園に開き缺員中の分會長として菊池豫備中尉（地方法院判事）を推薦其就任を見合役員の改選をも行ひて散會せり

人事消息

▲篠山俊太氏（日本製糖重役）▲岡村左右松氏　同十二日夜入京已成館に投宿の筈

▲若林孫一郎氏（三菱東洋課技師長）　十二日朝退京

▲細瀨平之佐氏（代議士）　同上

▲小林富次郎氏（小林商會主）十二日夜退京の筈

▲橋本釜山警務部長▲鈴木蔚山警務部長　晉州警務部長會議列席の爲め十二日釜山發晉州に向ふ

▲奧田龜造氏（代議士）　十一日釜山發漁場視察の爲め北鮮に向ふ

▲中村朝鮮水產組合技師▲石森朝鮮水產組合技師　漁業視察の爲め十二日釜山發西鮮地方に出張

▲藤原文一氏（總督府水產課技師）十二日釜山著

▲頭本代議士　十三日夜退京の筈

▲若松兎三郎氏（釜山府尹）　陸地棉栽培十週年祝賀會臨席の爲め十二日釜山發木浦へ

▲阪谷麥太郎氏（大邱監獄典獄）　十一日夜入京　東京旅館へ

口木浦行

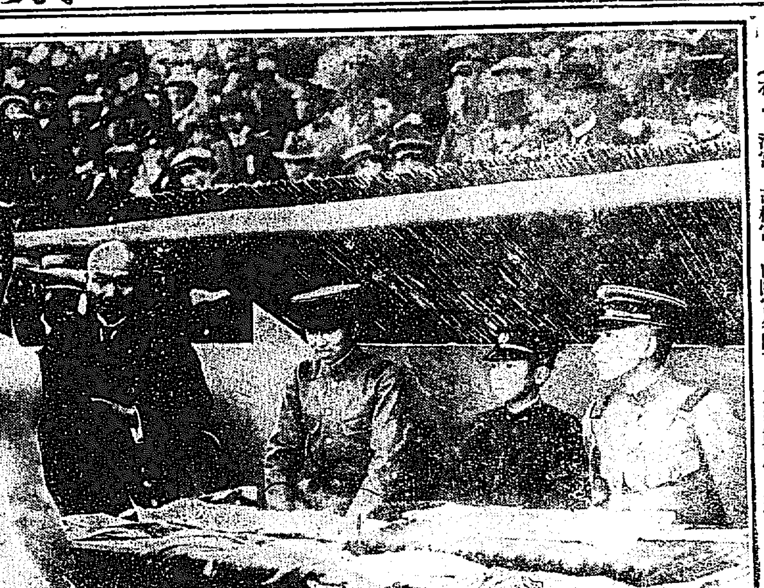
烏兎

○汽車の窓より
語り傳ふ指呼す野に咲く何の花
○着任地を過ぐ
我が在りし山に松立つ霞かな
湯の村を隔つ小山の霞かな
揚雲雀ポプラ芽を吹く一路哉
笠を負ふて入出づ谷や山笑ふ

○　靜軒

○木浦陸地棉十週年紀念會を祝して
民に生氣あり此地棉蒔五萬町
○水原附近より鞍山を望む
初夏や我と見る目に山の色

二版　時間表（行南）（行北）[illegible]



◇極東オリンピック大會 三殿下の台覽
（右より淳宮、高松宮、山階宮各殿下、三好傅育官長）

七分通り出來上つた
◇素晴らしい漢江の人道鐵橋◇

昨年起工した龍山と對岸鷺梁津間の漢江人道鐵橋の架設工事は頃日餘程進捗を示した、何しろ京城の表門口たる京釜國道を飾るべき橋梁で總督府が

■八十萬圓 といふ巨額を投じた直營の事業だから却々立派なもの、竣工した曉には京城に一新面目を施すことであらう、目下工事は七分通り出來上つたさうで二村洞の架橋事務所には土木局の花井技師以下數名の監督員が

■晝夜の別 なく詰め切り工事を請負ふてゐる間組では毎日數百人の人夫を使つて工事を急いでゐる、花井技師の談に依れば工事は意外に捗り目下の具合では本年十月には竣工の見込みである、何分雨季を眼の前に控ねてゐるから橋脚だけは是非共

■洪水前に 完成したいと思ひ工事を急がせてゐるさうだ、橋脚は全部で十連で既に七連は完成してゐる、深水の所は水面下五十尺も底に這入り河底の土砂を掘り拔いて河盤の岩石を二尺も穿鑿し其れから揃つた花崗の切石を

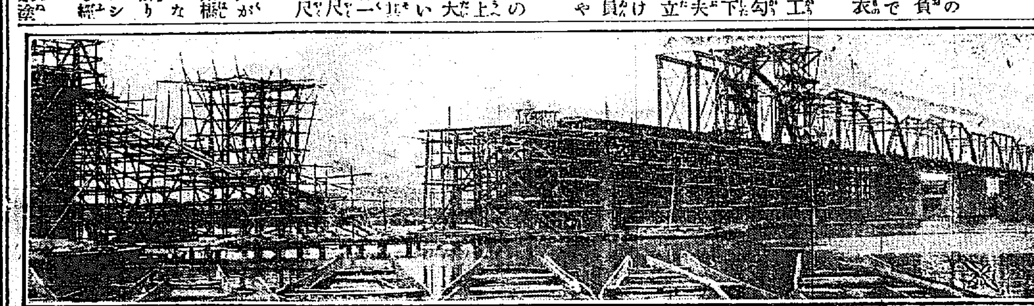
■混凝土で 疊み上げてゐる、數百の人夫等は潛水鐵函の中で河底の土砂を掘上げてゐるものもある土運車で材料を運搬してゐるもの重さ數十貫もありさうな石材を背負ふて高い足場の一枚板の上を平氣で上下してゐるものもある、顔や著衣迄眞紅に染まつて

■猿のやう にペンキ職工や鐵工など水面から四十尺もある勾欄の上で鼻唄で働いてゐる、其の下では既に完成した橋下で多數の人夫が團平船を浮べ網の目のやうに組立てられた足場櫓の丸太を機械仕掛けで引つこ拔いてゐる其の下を監督員小畑技手の案内で小舟に打乘り綾やかな流れの橋下を周りながら

■橋欄を 仰ぎ見れば魔物のやうに架けられた橋上の一枚板の上で多數の工夫が働いてゐる、橋は大小二個になり長い方が漢江橋短かい方が小漢江橋と命名されるさうで其の幅員は中央車道二間兩側人道各一間宛橋脚と橋脚との一間隔が二百尺となり、橋脚一個の頭の幅員が七尺になつてゐるから

■橋の全長 は二百七尺が十倍された長さとなる尤も大小兩橋の間は中洲でそこは普通の道路になつてゐるが其長さが二百二十間計りあるさうだ、兩側の築堤にはアカシヤが植込まれてある、今後數年も經ればアカシヤ

■並木を中 に挾んだ先途り人道鐵橋が汽車鐵橋と相對して碧流の漢江上に聳ね對岸鷺梁津側の景趣と相俟つて打展いた白砂の河原が一段の風致を添へて茲漢江の鐵橋附近は自然的の一大公園と化するであらう



漢江人道鐵橋

三菱造船所 職工同盟罷工

長崎三菱造船所に於て十一日午後職工五十名同盟罷工を起し技師連も亦之に加はれりとの報あり（大阪特電）

官金四十五萬圓 横領犯人處刑

東京神田區黒門町竹内晋五郎は外四名の者と共謀して四十五萬圓の神戸稅關金を横領せる罪跡發覺し神戸地方裁判所にて審理の結果重きは懲役四年輕きは一年に處せられ追徴金四十五萬圓を申し渡されたり（大阪特電）

汽車に觸れて 内地人の自殺

京城小町三丁目居住新谷寛一（二〇）は數日前より俄かに精神に異狀を來たし家人は密かに注視中五月四日早朝無斷家出し行衛不明となりたるより家人は百方搜索中寛一は同日午前七時五十四分頃龍山岡崎町の南大門龍山兩驛間のガード附近の鐵道線路上に打倒れ人事不省に陷り居るを通行人が發見し其筋に屆出でたるより岡崎町出張所の憲兵が現場に出張し檢視せしが寛一は同日朝南大門驛を發したる七百四號列車に刎ね飛ばされ後頭部に深さ骨に達する打撲傷を負ひて横はり居るも絶命するに至らざるより即時元町一丁目本願寺に收容して應急手當を加へ急報に接し南大門通五丁目吉村彌三郎が駈付けて引取り目下元町一丁目齋藤醫院に入院加療中

發狂して縊死

高陽郡崇仁面徵慶里鷹山の中腹松林中に縊死者あるを五日午前九時頃里民が發見し急報に接し京城分隊崇信里出張所の憲兵が出張檢視せしが他殺の疑ひなく死後五日間位を經過し居るもの、如く身元取調べの結果同里の千鳳模（四八）といひ以前京城崇信洞の煙草工場に通勤せしも極貧にして生活困難の爲め遂に發狂し本月一日頃無斷家出し此始末に及びたる如く屍體は實父千守公が引取りたり

義賊と稱す 慶北尙州郡

慶北尙州郡尙州面西町里生れの李福俊（四八）は數名の部下を率ひて銃器を携へ義兵なりと稱し各地を荒らし強盜殺人放火等あらゆる惡事を働き其後行方を晦ましたるが終に尙州憲兵分隊の手に逮捕され過般來大邱地方法院に於て豫審中なりし處愈々豫審終結有罪と決定し強盜殺人放火として公判に附せられたり（大邱）

送電停止延期

京城電氣會社にては來る十三日壺間市中の送電を停止すべき筈の處線路工事の都合に依り來る二十日に延期せり

開教院の運動會

雨天の爲め順延となりし開教院の日曜學校、婦人會、青年會合併春季運動會は十三日（日曜）午前十時より奬忠壇にて擧行する事となれり

◇洋畫展覽會を觀る

■山本梅涯氏及び其の他會員の人々に依て催された洋畫講習會展覽會を南山町の京城ホテルに訪れた

■出品數は總て百四十餘點で京城在住の人ばかりでなく地方會員の出品も大分有た樣だ、梅涯氏の作品に就ては已に定評があるからこゝには評を略す

■會員諸君の作品に就て少しばかり言つて見れば第一に何れの作品も比較的眞面目に筆を取て居る樣に思ふ然しそこに前途尙ほ遠しと言ふ感を抱かぬ譯けには行かぬ

■全體を通じて色彩の豐富な事と筆數の多い事が目に付く色彩の上から言へば部分的にはかなりの變化を持て居るけれども畫面全體に大きな變化が少ないと思ふて

■出品中岩崎直英氏楢崎東氏等の作品も有つたが兩氏のものを並べて見ると各々特長を發揮して居て面白いと思つた、楢崎君のものを見るとお年も若いだけあつて色彩にも青春の氣があふれて居る、願はくはもう一息色彩に鍛錬を要すると思ふ

■其の他に令嬢諸君の出品には花とか果實とかを描いた物が五六點有つた、やはりお孃さんらしい柔い色としとやかな線とが見られる

■點數の多いのは會員諸君の努力の大いなる事を證明して居るけれども作品を味ふ上に於てはいゝものを少數並べる方がいゝと思ふ會期は十二十三の兩日だつ（とみ）

隨從記　金谷生
『濵砂十里、海棠花よ』
李堈公殿下の御遊覽 ―第四信―

◇李王殿下の隨員一行は李堈公殿下を始め一同元山灣の築港工事を視られた、◇十日の空は日本晴れ、稅關ランチの舞子丸と警察の第一神戸丸と郵便局の竹丸とは午後二時といふに稅關埠頭を離れて沖の鷗や白帆を追うた◇元山の築港は大正四年共進會の年から工事を始めて來る大正八年竣工の豫定、工費百五十六萬圓、曾て寺内前總督の沈めた波止場の基石のあたりは潛水夫の船が春霞の下に働らいでゐた◇李公殿下は築港よりも此あたり一帶永興灣の眺めに感興深く殊に對岸葛麻浦の松原は德へ開く日本内地の天橋の景色もかくやとばかり是非陸路遊覽をとの御希望であつた◇そこで關長官以下の廿名は各自腕車をつらねて鮮人町の元山里から磯づたひ、長い弓絃のやうな海岸を新緑の村斗南里へ著き此處から白砂青松の葛麻岬を心ゆくばかり觀望したのであつた◇葛麻の岬は斗南里から進島里まで約一里程、幅は四五丁の一面の松原がそれである◇此處が今のやうな松原になつたのは元山の人俊瀨忠太郎氏や近藤範治氏などの植樹したのも尠くないがむかしは白砂一面の花薔薇、鯛魚の釣れる初夏ともなれば鴇色の匂ひ高き花が水彩畫の如に咲いたのであつた◇それにまた此の天橋のローマンスには朝鮮に名高き『濵砂十里海棠花よ!!』の戀物語り◇歌の意は年々歲々花は咲けども人は同じからずとかいふのだ相で水色の裳長き妓生のうたはむかし此の汀に死んだ美人の優しき物語りが遺るとか、日本の天の橋立よりも更に雄大なる葛麻浦、優しき物語りをのこす葛麻浦!!◇李堈公殿下は倦かず此の眺めを御覽の上午後五時過ぎといふに旅舘大東舘に御歸還、沿道には折からの市日に白衣の人の堵をなした、猶は赤田川畔の元山里にはむかし李朝の太祖が强弓を射て遠く葛麻浦に飛ばしたといふ大岩石の遺蹟もあつた、それに因むで『射臺』の名は今にのこる（十日元山にて）

初日手捌 中入後の分

▲柏戸に濃錦山 は彌右を差して肩透しを曳くを柏戸殘して捻つて勝

▲藤の川に綾川 は一合して藤左を差して寄れば綾右手に藤の首を卷いて强引の首投げに行くを藤殘しつゝ突き放して藤の勝は大喝采なり▲若島に小常陸は突き合ひ若の引くを突け入つて押切り小常陸の勝▲明に一洲は右四ツ明十分に喰ひ下り外掛けて凭れ込んで勝

▲大鳴門に駒泉 は激しく突き合ひ鳴門叩き込みを見せ駒の前に泳ぐところを横から突き飛ばして鳴門の勝▲土州山に逹の矢は激しく突き合ひ土州右を差して寄るを逹左手に卷いて小手投げを打ちしが利かず土州二本差して逹が挾みつけて寄るを美事に捲き落して土州の勝は滿場を唸らせたり▲眞砂石に釋迦ケ嶽は眞砂遮二無二突きかけ左を差して寄り倒す

▲朝汐に宇都宮 は宇都立ち上りさま上突張り烈しく攻めつけ朝のタヂログ所を突き出して宇都の勝は滿場大喝采▲伊勢ケ濱に宮城山は右四つ宮城勢ひ込んで寄るを掬ひ投げを打つて伊勢の勝▲大錦に鞍島は鞍激しく突きかけるを錦受け流し左四ツとなるや寄り倒して錦の勝にて打ち出したり初日の星數は東方十三西方十なり（十二日午前二時著東京支局特電）

東亞煙草職工慰安會

東亞煙草朝鮮製造所煉草職工慰安會は十二日土曜日午前十時より京城中學校々庭にて開催する事となれり

裁縫女學校展覽會

京城裁縫女學校にては過般校舍の新築成りたるを以て五月十三日（日曜）十四日（月曜）の兩日午前十時より午後四時迄新築校舍の縱覽並に生徒成績品の展覽會を催し一般の參觀を希望する由

讀者文藝（一等には五十錢相當の賞品を呈す）

▽下句付『高麗』
○……夜舟に乘せる能因師（一等）　京城　朝顔
▲……[illegible]の部屋ばれづの蚕　京城　松旭
▲……敵を拔く一面と　京城　朝鮮坊
▲……夢の様な小宿食ひ　京城　上田生

課題及募集規定

■募集規程 ▲用紙は端書又は同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は住所氏名明記の事 ▲[illegible]は一週間[illegible]

■事務員の窃盗 熊本縣玉名郡八嘉村生れ當時大邱大和町居住入江俊生（二二）は大邱郵便局に雇はれ[illegible]第一種郵便物を開披し在中の五圓小[illegible]一枚を窃取其後同月十五日[illegible]の決定を與へられ居りしが愈よ豫審終結[illegible]

[illegible]道の沿岸及び内國[illegible]上陸客 五月十一日[illegible]

天候 くもり
曇り少雨（十二日午後六時發表）
五月十三日 [illegible]

商況

東京 公債直取引（十二日出來値）

種類	値
五分利	九七、九〇
特別五分	
甲號五分	
二回四分	
一回四分	

深川在米特電（十二日現在高）

種類	高
內國米	一七七、七六六
地廻米	五九、三三七
鮮米	一、六七九、九六四

東京期米特電（十二日前場）

	五月限
寄付	一八、一〇
高値	一八、一二
安値	一八、〇二
止め	一八、〇二

大阪株式

種類	拂込	十一日後場	前日
宇治川水	[illegible]		
京阪電鐵	[illegible]		
東洋紡績	[illegible]		
合同紡績	[illegible]		
鐘淵紡績	[illegible]		
同上新株	[illegible]		
東洋精糖	[illegible]		
大阪商船	[illegible]		
日本郵船	[illegible]		
同上新株	[illegible]		
堂島米穀	[illegible]		
東京新株	[illegible]		
大阪株式	[illegible]		

大阪三品特電

大阪期米特電（十一日後場）

限月	寄付	止め
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]

下關期米特電（十二日前場）

	寄付	止め
當限	一七、二七	
中限	一七、五三	
先限	一八、〇三	

鑛力板又昂騰

板は過般二回に約四五圓方の下押しを報じたるも忽ち跳返へし今日にては前日の高値を拔きて新値を報ずるなど限先益々强含みにて玆許市中相場も遂に五圓高の八十圓を唱へらるゝに至り

骸炭の拂底

骸炭即ちコークス類は夏期需用期に入りてより品拂底を告げつゝありこれ瓦斯發動機鍛冶熔用の消費が增加せしと反對に瓦斯會社の製造力減少して一日僅に二三四噸を出し得るに過ぎず且其の質も著しく不良となりて苦情多きが一方龍山に於ける陶器所は其設備を擴張して頻りに製造に努むるも原料高値のために製品不廉にて一般の需用に應じがたきに加へて內地又は高値の際とて特殊向きの外は移入不引合なれば傍々品缺乏し市中以外の注文は謝絕せるもの多しと瓦斯會社製品値は依然一噸十五圓なり

砂糖氣直る

久しく不味の狀態より脫け出で見直せる內地糖界は昨今外輪契成らむとの噂に一層人氣立ち直る模樣なるが內消費增加せる上またこのさき七八月の需用期を控へ捌け口よろしく過般の底値より四五十丁方昇りて目下卸し値セー三オー共に十三圓二十錢處を唱へつゝありて目先なほ氣强し

精白米引締る

精白米地場卸値は幾日來原料ザリ々高にも拘はらず十六圓三十錢處に持合ひ居りしが各地正米は賣物薄さと益々氣高を報じ限先相場の押し一寸强み氣配き傾向にて精米所も漸次値高の原料を消す事となり白米値段も愈々現狀維持の困難を告げ昨日頃より內外に引締り約三十錢の唱値は十六圓六七十錢處なり

田中[illegible]
定期賣買の理、賣買保證金一割大阪御渡附可申候
電話長 一六二 五二八番

鮮人夏向織物

夏向織物は既に全部品揃へとなり弗々取引開始されつゝあるが各品共に原料高に伴ひ製品價格又著しく騰貴せり且つ麻類の高値なると絹綿其他の外國製輸入社絹の高なる本年は流行及嗜好の上にも多少の變化を生じたる傾きあり之等の代用品として今後の賣行きに付き先も頗る囑望せられつゝあるものは昨年初めて市場に賣出されたる漢陽亭にて本品は正斯糸製織されたるものにて價格を以つて製品に見劣なき一見麻樣と變らず價格又低廉なる處より各地方よりの買望み多し相場は目下一反一圓九十錢見當にて昨年より約一二十錢高に當るも最近に於ける綿糸暴騰の影響は後約更に二十錢方騰貴したるより販賣店の現手持渉に連れ漸次相場を引締むるに至るべし

絹類

は揚柳既に底値の騰貴は未だ迅速なるも近々しからず本年は阿波産の獨占舞臺ともいふべく賣行きは白無地尤も多く次で色物模樣物に至てはチョツキ用として微々たるものなるが値段は白無地一反三圓八十錢色地四圓二十錢處にて前年より約四割方騰貴せり其外

倭紗

も綿布としては要の大部分を占め居れるが本品又綿糸高に連れ安からず値段は百匁種十一圓五十錢處なるが綿布は更に五六十錢高からんといふ尙要は倭紗は外國品の輸入極めて稀に和製品のみなるが値段は一圓八十錢內外なり一般の賣行きさして渋滯も期待されてとの頃の昨今にて今一段氣乘り薄しといふ

京城正米

地方高の刺戟を受け氣配益々强模樣なり見當相場は上玄十四圓十錢中十三圓六十錢下十三圓二十錢處を唱へられつゝあり

京城雜穀

▲小豆 商内皆無の折柄なれば北海小豆の大暴落と影響なく見當値段赤大玉十五圓を唱へ居れり▲牛小豆 依然高依合にて石十圓五十錢處の唱へなり▲色豆 內地高に連れ高きも鮮內產の色豆はこゝ兩三日中に到着すべしなければ市況に影響なし既報滿洲產開城遊ぎ及び四平街の各積出し地は

銀價戻る

十一日後大坂に於ける金塊換算率は百十五圓七十錢に下落せる旨入電ありこれ前日に比して一圓二十錢方の去る四日の高値に比べて二圓五十錢方の崩落に當り五月初ての安値なり因て同取引大豆相場も多少亞下押したるが倫敦相場昨日朝銀行入電は三十七片八分の七を報じ前日に比べて十六分一方の下落也

北海小豆又落つ

先電十四圓八十錢に崩落せる北海道產小豆は十一圓更に下押して十圓丁度となり投物現はれ底入模樣との入電あり

綿布値上げ

前月末綿糸の昂騰に伴ひ突飛さ思つて七圓五十錢迄急騰を告げし綿布は其後綿糸安等に反應を喚び一時七圓十錢迄近く逆崩れしが當市中の成行きは此間にあつて頗る冷靜に捺へられ平素會社の建値より下値にあるを普通とせる綿布三ヱー票の如きは却つて市中相場の方上値を維持さるゝの矛盾を見るに至りて一般先高の念强かりし處先數日前來人氣大に立直り綿糸は更に新高値にし

綿布又先物

十一日午後に至り七圓五十錢こ前高値迄反撥し內地市場は再び暴騰の熾烈なるを報ぜしより當市中の人氣は益々手强く會社側に於ても致止め解除の當時恰も內地相場下落せし折柄とて建値も三圓上げの百九十九圓を發表し豫定通りの引上げを爲すに至らざりしが前記の如く今回內地相場の昂騰に連れ更に値上げの必要に迫られ十一日二圓高の二百一圓を發表するに至れり何分值頃の高きと元來が需要閑散期にて賣行きは頗る不振を極め居るもの、如し尙右に同事に細布又十五錢方の値上げをなしたり

釜山穀物（十日）

▲正米（保合）賣り物俏薄とて當市場賣り物さしても至極尠少なり本邦定期米小往米保合の報あり當市場買氣も先九十一錢との報あり當市場買望み人は依然精米口の必需原料買取れ共底陳き精米口も從來相當原料買取りたる揚句の事とて割安物にてもあらば買取らんとの氣構へ米主は依然として强腰にて放さずされ共市況大したる變動なく相場は保合のまゝ入午前中玄米一千五六百俵の商內あり▲大豆 賣り物としては餘り潤澤ならず本朝は地賣りよしの買觀きあり商談團りたるも相場は變らず保合同事なり
總田祖高二〇〇九〇、中米八九玄米一九六四、小麥二〇、大豆三六

生魚市場

（京城魚市場）
群山統營木浦鎭海等より可成りの入荷あり値保合ふ建値如左
タイ一六サワラ一三モエビ一セイカ一ーヒラメ九ニベ一一チヌ九カニ五コノシロ七五

仁川期米

▲十二日前場 兵庫前寄十七圓五十六錢 大阪天候小雨
前寄十八圓〇三錢 昨止より二錢安 の入電に當地當限八十錢より七十錢と押し五錢十三圓八十錢より九十錢と押して引中十四圓三十錢と返し一錢と上伸引先十四圓三十錢丁度と五錢高に寄付直に二錢と跳ね二十八錢と押したるも崩れに新規に買物多く忽ち三十錢に乘せたるが一面利喰に新規に買物顯はれたるも人氣は益々買氣に安へて三十四十錢丁度と依然として

値に沸騰し利喰に八錢と押し九錢と更に新高
然強硬の成行を示し大恨戰大概職裡に散會
▲十二日前場 當限(一)十三圓八十錢七十錢平均七十五錢(三)七十五錢一錢中限(二)十三圓八十錢一錢二錢一錢三錢平均三錢(三)五錢(四)九十錢(五)九錢四錢平均七十一錢出來高千百石十錢(四)九十錢八十八錢平均值十九錢出來高一萬三百五十石

仁川米豆取引所仲買人
今村覺次郎
仁川港仲町三丁目 電話[illegible]

市場零聞

▲更に新高値 天候快晴 昨日後場は氣先の今前場大阪入電小安さも買强勝に十四圓三十錢と上寄に始まり二錢と跳ね二十八錢と押したるも(二)(三)より大買物現はれたると(四)(五)分會社筋より應れて新規に買物多く忽ち三十錢に乘せたるが一面(六)より目立たる買物現はれたるさ同(七)分台社より利喰に新規に買物多く大阪の跡安を移したるもなりしと

市場大商盛

此處相場の大出來は日々の取組高多く意外の變動に連れて日々取組高多く意外の賣盛を持續し居れり斯る場合强氣の腰入不知不識深甚となるに連れ益々除盛を見るに至るならん現に角取所及び仲買人萬歲である

煽り上げ

煽げたる相場なれば一朝買氣の冷却せんか或は意外の反動安なしとせず此處大に考慮を要すべき者あらん

三井買は無根

仁川市場に於て噂さに上れる三井筋の期米大買付は全く事實無根にて市場の臆說に過ぎず斯かる說の流布さるゝに至りしは或は三井の名を利用したる一部買方の策戰ならんといへり

▲前場の手振左の如し
▲(一)同店の買無慮三萬三千餘石に對し買一萬三千餘石あり
▲(二)同店の買無慮二萬六千餘石に對し買一萬六千餘石あり
▲(三)同店の賣無慮二萬四千餘石に對し買五千餘石あり
▲(四)同店の賣無慮一萬千餘石に對し買千餘石あり
▲(五)同店の買九千餘石に對し買無慮一萬餘石あり
▲(六)同店の買九千餘石に對し買六千餘石ありたりとの事
▲(七)同店の賣六千餘石に對し買九千餘石に上りたり
▲(八)同店の賣六千餘石に對し買五千餘石に上りたり
▲(九)同店の賣七千餘石に對し買六千餘石に上りたり
▲(十)同店の賣四千餘石に對し買二千餘石に上りたり
▲(十一)同店の賣三千餘石に對し買三千餘石に上りたり

人氣沸騰す 買人氣旺盛

熱狂せる人氣には腹せず遂に四十錢丁度と新高値に沸騰し三十九錢と反落を告げたり市況は依然買氣旺盛にて今前場の熱狂相場の現出さし思はれるが果して今後の變動如何あるべき

阪の二十錢高に對し約一圓十錢高

今や熱狂相場に等しき迄に沸騰し來り人氣は極度に達しつゝあり一時的利喰押しを演ずるも忽ち沸騰し來る人氣は愈々買に偏し來りたる者の如くにて大阪の成行に比し大に行き過ぎたる感なきに非ずや併し買氣旺盛の折柄今後更に昇騰を見るならんと思はれる新市發會以來大阪の二十錢高に對し約一圓十錢高を演じたるも此間僅々十日間にして正米[illegible]變動なく只人氣の作用に[illegible]

仁川米豆取引所仲買人
三巴仲買店
仁川港仲町三丁目
電話一二一、一三一、一四一 振替口座京城四〇三

仁川米豆取引所

十二日の七月限

前場	
寄付	十四圓三十錢
止め	十四圓三十九錢
安値	十四圓二十錢
高値	十四圓四十八錢
出來	十萬九千二百石

平均値段	
一節	十四圓三十一錢
二節	十四圓三十三錢
三節	十四圓三十五錢
四節	十四圓三十七錢
五節	十四圓三十九錢

賣買取組高

限月	取組高	前日と比較
五月限	一萬八千九百石	一四增
六月限	二萬二千二百五十石	一五增
七月限	四萬九千五百石	一三增
十一日後場		一二增

南大門の廻穀

相次いで皆百斤四圓落を伝ふるが昨日の四平街のみは中物三圓九十七錢との報ありたるもこは銀價下落のため一時の變調を來せるに過ぎずして今後益々良好の況なるべし市中賣口も漸く增加し各地共まだ今日迄の處にては回着次第消化されつゝあり

水原玄米	八四叺	水原籾 一三叺
平澤玄米	一八九叺	仁川胡麻 五叺
鳥山玄米	五四叺	新幕小豆 三九叺
天安玄米	四〇叺	水原白米 六三叺
馬渕玄米	六〇叺	水原白米 三七叺
平澤玄米	三三八叺	

仁川現物市場

△籾入津四百餘俵 氣配は期正米高に連れ賣人氣を唱へ居れり
△正米入津千餘叺 氣配は多少高人氣を唱へ居れり
△大豆入津なし 氣配賣物薄にて强人氣を唱居れり

大野遊會は愈々明日
蘇島へ奉恩寺へ綠の大深林へ

本社及び每日申報社主催の家族的大野遊會は愈々明十三日の日曜日を以て開催する筈なるが何分愉快なる大野遊會の事とて市中至る處の評判となり我も〳〵と同日を待ち焦れて居る事とて從て當日は來會者も非常に多かるべく團體として三井、電氣會社、日蓮宗婦人會を始め卅人乃至五十人の團體參加者も非常に多ければ蘇島奉恩寺は人を以て埋まるべし

寶探 殊に呼び物たる千餘點の大寶探しは社員密行して巧みに番號札を隱匿しあれば當日は開會時刻と共に場所の掲示をなすべし隱匿とは云へ必ずしも發見難事なる處にあると云ふ譯には非ず鳥渡氣の付かぬ處にあれば諸君は其の御積りで必ず見脱されぬ樣注意せらるべし優勝品發見者の姓名は直に掲示し同時に鈴を以て合圖すべし其の賞品の主なるものは左の如し

銀側上等懷中時計、純銀上等一輪挿花瓶、人蔘エキス、眼覺し時計、上等靴、煙草五ボール を始め千餘點總て一本の空札もなければ發見次第必ず何物かに當る譯なり

餘興 餘興は大寶探しのみならず朝鮮人の巧妙なる綱渡り妓生の獨特な缺鑼は之れ必ず諸君の大喝采を博すべく彼の楚々たる裝の妙艶の美人が巧みに二條の綱を操つて高く低く飛行する樣は宛然畫中のものにて恐らく之れ未だ餘り世人の目にせし事はなかるべし而して奉恩寺の大法要とても之れ亦稀に見る雅典なれば餞春の行樂を恣にせんとする人は必ず來會せらるべし

道路 道路は往十里電車終點より蘇島渡場に至る迄は坦々として車馬の通行も至便なり 蘇島對岸よりは僅かに十町に足らず此の間又た眺望よろし 蘇島より船にて寺下迄行く人は舟中より眞に山水の美を賞翫するに足るべし

接待 接待所は蘇島及奉恩寺又は本社及び每日申報社の天幕張あれば來會者は自由に休憩して然るべし又た奉恩寺には明治町小田商會の人蔘酒の接待ある筈也各所に賣店あれば辨當其他何にても販賣す

報知 開催の通知は十三日午前八時より漢陽公園に於て三發の花火を打ち揚げて諸君に報知するが故直ちに御出發ありたし花火を打上ざれば開催せず

注意 野遊會場殊に靖陵宣陵に於ては不敬に亙る行爲なき樣御同樣注意せらるゝと共に深林中にては火の用心に大に注意せられ樹木を折り取るなどは禁止されあれば何れも厚く御注意ありたし

明日に迫った仁川の大運動會
觀覧席の賣切れ＝猛烈な大々的豫習＝應援歌デカンショ節

仁川各學校聯合大運動會は愈十三日午前八時半から開始されると言ふので、市中は此れが爲めにざわめき立つて居る運動會谷の一二三等の觀覧席は殆んど賣切となり其他の場所は

■猫の額程も餘さず 細かく張られ來賓席、貴與席、各學校生徒控席其他の設備は十日から著手して十二日午前中に全部出來上つた、各學校では出來得る限り運動會の爲めに他の時間を割かない樣に勗めて居たが目睫の間に迫つた十日頃からは弗々豫習に取掛つて商業專修學校では十日は濱町空地で分列式を女學校では校庭で行進遊戲や體操を小學校は

■白兵戰や奮闘振 つきなど特殊の練習を要する團體競技を練習し、十一日から十二日にかけては運動會谷で大々的に豫習をやった何分午前八時半から七十番百九十四回も終らねばならぬのであるから、分列式、行進遊戲等の運動を除いては約三十秒乃至四五分每に先回の運動の終るのを待つて順繰に出場する其樣は恰も

■木の葉が暴風雨に吹き捲くられるか、フイルムを眺めて居る樣で一分間の餘裕も無い然も教師は多數生徒を統率して一絲紊れず行はねばならぬのであるから其苦心は察するに餘りありで、平素の訓練の巧拙は一萬の父兄の前で遺憾なく表現されるから其の氣骨の折れる事は到底他校の比ではない、當日は、商專健兒の氣勢を擧げる爲めに同校卒業生は

■デカンショ節の應援歌を作つて異彩を放つ事とした

(一)色は黑ても專修のグラジユエト コリヤコリヤ、文武銀へのヤングヂユントルメンヨーイ〳〵デカンショ

(二)腰辨さげても專修のグラジユエト コリヤ〳〵未來は天下のグレートビズネスマン、ヨーイ〳〵デカンショ

■激烈な運動の後 猥りに食物を與ふる時は腦貧血を起し兒童の能力を充分に發揮せしめ與はざる事等に注意し運動會場に於て兒童に面會する場合は必ず裏門に廻つて學年組氏名を記した紙片を係員に渡して兒童の出で來るのを待ち決して出入口に立塞き場内に立入らざる樣心懸けねばならぬ(仁川)

月曜日に延期
雨歇めば豫定通り

仁川三學校聯合運動會は十二日午後より降雨ある爲め晴ば十四日(月曜)に延期す可き見込なるが幸ひ夜に入り雨歇みて晴天を見るを得ば十三日朝六時三十分穴門上にて合圖の花火二發を打擧げ豫定の通り開催する筈なりと(午後二時電話)

李王殿下のお宿となつた
持地元山府尹の家庭

元山府尹持地卓爾氏の夫人はむかしの女大學の教育を受けたやうな立派な奥樣、頃日官舍が李王殿下の御宿となつたので新綠に包まれた旋燈臺の假住ひに可愛らしいお嬢樣と坊ちやんと共に暮らしてゐる

■十日の午後も内山侍從武官長の出迎ひから質素な黑の紋付で踊るのを見ても平素から驛の送り迎へが相當なお仕事だなと思はれた府尹夫人は元山に於ける社交會の花形である、されば といつてハイカラ氣味は微塵もない

■由來開港以來三十七年の古い〳〵元山では土地の人がみな兄弟も只ならぬ、親類交際それに優しい元山の婦人は浮薄なところが些ともない

■『婦人の會は愛國婦人會の支部と本願寺の佛教婦人會がありますがこれ迄子供の世話が忙がしくて些つとも參りませんでした先日村上博士の講演を伺つて大層よい御教訓を得ましたからこれからは是非參りたいと存じます景色のよい元山へは參りましてから十年あまり、今年滿三年生の此の子も當方で産れました』と

■夫人は十才のお嬢さんの頭を撫で、其處へまんまるい坊ちやんも出て小さい太鼓をさげながらかゞ〳〵の『元山へ來てから十年の間京城へ參りませぬ、たゞ一度龍山の姉の病氣見舞に參りました』との事

■家庭は至極圓滿、府尹は俸給と賞與の上る度にこれを女中から書生に分配する人、常に暖かい春風のふく羨しい程の家庭である、義眞の坊ちやんは茂春さん(二つ)お嬢さんは元さん(十才)富千代夫人(元山にて十日記者撮影)

平壤の逐鹿界

平壤學校組合議員選擧は期日の切迫と共に愈々色めき來り大和町會に於ては十一日午後八時より華頂寺に於て役員會を開き種々凝議する處あり結局町會公認候補者として藤本逹次郎、古莊仁太郎、在間行太三氏を推すことに決し三氏亦快諾せり、曾て立候補を傳へられたる上谷亮三氏は現に商議評議員を勤め公私共繁務の爲め斷然推薦を辭退し又中平岩藏氏は十日夜帆足四郎氏を推擧すべく訪問せしに反つて帆足氏より立候補を慫慂されたる結果愈々出馬に決せりと傳へらる但し同氏は十一日夜立候補斷念の旨記者に洩らしたるに徴すれば其間多少の曲折あるべきも兎に角氏の周圍の人々が熱心に氏を動かさんとせるは事實なり(平壤)

電車の立往生

九日午後五時半頃龍山漢江通り龍山郵便局附近にて進行中なりし京城電氣株式會社の五十九號電車の車軸折れて運轉不能となり車體は往復兩線上に橫はりたる爲め兩線共十數臺の電車立往生し會社より工夫駈付け復舊工事をなして間もなく開通せり

●鷄林文壇創刊 若き同人に依り植民地に於ける眞面目なる文藝愛好者の好伴侶たる可く眞なる主義の下に新に『鷄林文壇』と稱する雜誌を京城にて發行の計畫あり來る六月創刊號を發行す可く同誌には六個の懸賞募集ある筈にて五月二十五日締切申込其他照會は大和町鷄林文壇掛にて取扱ひ居れり

夏場所大相撲懸賞

東京大相撲夏場所は愈々十二日より開場に付き好取組十番を選び勝負豫想を募集す

太刀山(黑瀬川(鳳(千葉崎(大響
九州山(大錦(栃木山(兩國(逆鉾
石山(大鳴門(大戸平(紅葉川(玉手山
駒泉(源氏山(宇都宮(常の花(宮城山

右十組の取組をはがきに認め勝力士の肩に〇、引分に×、預りは△を附す事▲勝負は總て協會發表の勝負附に據る事▲最も多く的中したる者より順次等級を附し賞品を呈す但し同點者多數の時は抽籤に據り右十組の中預合せなき時は夫れを除去して計算す▲〆切は五月十二日最終便の日附印あるもの▲はがきの表面には必らず京城太平町京城日報社角力懸賞係と明記する事(當選者多數の場合は抽籤にて定む)

賞品 △一等一人 銀側懷中時計一個△二等二人 上等反物二反△三等三人 上等置時計三個△四等十五人 上等卷煙草一ボール宛△五等三十人 福袋一個宛

神社とお寺と教會

○京城日本基督教會(長谷川町) 五月十三日午前九時より日曜學校同十一時より說教『兆徒の交』井口牧師 午後八時より『受肉再生』同師
○救世軍の集會 五月十二日(土曜)午後八時本町百三十銀行前の路傍『神の際』日原筱補生 十三日(日曜)朝十時半永樂町屋內『石に聽して起て』石島大尉同夜八時『汝は其人なり』石島大尉
○メソヂスト教會(旭町二丁目) 十三日午前八時四十五分日曜學校同十一時禮拜說教、釜山メソヂスト教會牧師中田...午後八時同牧師
○龍山日本基督教會(漢江通) 十三日午前九時日曜學校同十一時禮拜說教『友愛の恒久』同午後八時傳道說教『禁慾の義務』伊藤牧師

▲鹽鮭の粕汁 鹽鮭の切身をざつと水洗ひしよき程の角切となし熱湯と共に鍋に入れ火にかけてよく茹でゝ水氣をぬき自然にあげて水氣をきつておきます別に鰹節を削り水での鍋に入れ煮たつたところで酒粕の揺つたのに味噌汁を少しづゝ注しながら溶いて鍋に入れてまぜ更に一煮たちしたらさきの鮭を投じて二三回たて熟いうちに食べます鮭と一緒に大根を銀杏もしくは短冊に切つて鍋の鰹しきはに五分切りにした葱を加へると味が一層よろしうございます鹽鮭の頭は大抵どこの家でも捨てゝしまう樣ですがあれも一旦鹽だしをなし細かに切り酒粕汁の實に用ふると中々結構にいたゞけますすべて魚の頭と云ふものは大層滋汁の出るものですからうまく之を利用すれば美味いものが出來る譯でもあります

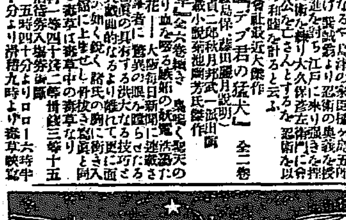
演藝案内

黃金館 天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店 電話二六三七 六五二
五月九日より特別大興行 ▲大阪安治川の大慘事 實に大悲慘の極みを見るもの恐ろしくも一回の涙の落る事が有ります ▲滑稽幽靈の出る時 ▲映寫地中海の海岸 ▲探偵活劇父の秘密 伊太利チネス社作 ▲新派春之潮 ▲舊劇實說坂田金時一代記 ...開館可仕候

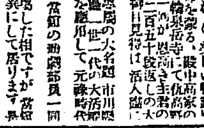
御成座 御成町 電話一九一 ▲第十九回番組 一、「悲操」全七場 小杉天外氏著 二、「冬の夜」全二場

有樂館 早川演藝部經營 電話(階上)四九七番(階下)二〇五番 五月十日より引續き特別大興行 東京小林商會が三年間の歲月と二萬圓の撮影費と百餘の俳優とより作り上げたる大寫眞 ▲忠臣義士實說忠臣藏 全十二卷

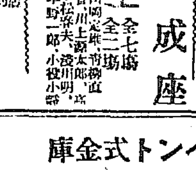
大正館 櫻井町 電話八七三 五月十一日より引續き特別大興行 ▲見よ破天荒の此の四大寫眞を! ○軍事活劇第十一快漢ロロー ○舊劇島津三小天狗忍術五郎 全五卷 ○滑稽大活劇「デブ君の猛犬」 ○家庭劇「群草」全六卷續き ...



夏物紺セル洋服賣出
一等 上下三揃 十八圓八十錢
二等 同 十二圓八十錢
三等 同 十一圓五十錢
鐵道拂下品 其他軍隊拂下品各種和洋古着類荷揃
右品例年通り特別廉價販賣
龍山元町二丁目 和洋服商 金子奥市商店 電話百〇五番 振替京城三八二三番

醇良清酒

仁川本町四丁目 吉金酒店 電話七十六番

結核專門 古賀病院

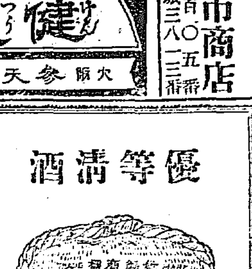
ベントン式金庫

京城本町二丁目 竹内金庫 御指定販賣 熊平支店 電話長六二一

東京株式取引仲買人 沖野米三郎
東京市日本橋區坂本町十八番地
一、紹介不要
一、證據金規定通前納
一、證據金表照會次第送附
頃來相場は下げ澁りつゝあり蓋し大活躍の前提なるべし仕入は此際を絶好機とす

M EP 品質本位
大阪唐物町四飯田商店

りん病 急性慢性を問はず博士發見の最新藥配合の淋滅をお用ひあれば全治迷なり七日分一圓十四日分一圓九十錢本藥は他店に御賣せず直接本舖に御注文あれ
京城黃金町三 振替京城三三七番 山田文殊堂藥房

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから御値がお安いです
京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番

優等清酒

京城永樂町二丁目 發賣元 本莊酒店 電話六五四番 振替京城五二〇六番

各種萬年筆即時修繕 京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

旅行用具一切
◆鞄製造(御好みにより如何樣にも調製可仕候)
◆柳製專賣品トランク
◆洋傘(本年流行新荷著)各種
◆其他車夫用雨合羽防水布雨具ゴム引マント 魔法瓶及中瓶取替
京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

飲めば遠き若くなる
天下一品 百歲 服用廿分后必ず奇効を起す
本品は錠劑にして一種の香味を有す
本品はドクトル荒井作先生の苦心創製されたる貴重なる錠劑にして消化營養補血に特効ある貴重主成分のみを配合したる完全無類の强壯營養劑なり
消化不良、食慾不進、神經衰弱、陰萎、精力性慾の減退其他一般衰弱性あるに服くべし
發賣本舖 百歲商會 東京市本郷區眞砂町卅三番地 電話下谷四三〇八番 振替東京三五五二番
有名藥店にあり 定價半月分金一圓 試劑二十錢 送料八錢 販賣御希望の方は御申込あれ

魚釣具
投網 麻絲 撚絲 柿澁 卸商
電話三一四番
電話開通 御申越次第定價表進呈市内は電話にて御問合を願ます
京城永樂町二丁目 吉備商會 振替京城四三八番

最良香油
東京 本舖 井善製
大阪南久寶寺町四 支店 藤森源之助 電話東一八七八番
各博覽會賞牌數個受領

明君道中記

第百四十三席 田邊南龍口演

家光公はそれへ三種のお肴を飾り、見布勝栗打鮑でございます。家光公御盃を取つて重長に給はる、時に居流れて居ります諸侯方も驚いて、彦左衛門も妙なものを見立た、又重長も是を承知をするといふのは何う云ふものか、一旦は退り親父とも計らひて返答すべきが當然である、少し彼は馬鹿に違ひない、何うせ彦左衛門の見立る者に碌なものは無いと陰言にて惡く云つて居ります、重長は其儘御前を退りましたが登城をするとは違ひ、下城をする時にはモウ御服代で此度お使を仰せ付けられたに就て大手に參りまするとカチリ〈〈と拍子木を鳴しハヨウ〈〈又ハヨウ〈〈、控をらうと云ふのが早言でございますから、ハヨウ〈〈と聞れる、控へ下座と云ふのがかゝる、何も役付で下ります時には別段の勢、御歸邸に相成と驚いたのは親父の安藤對馬守でございます此對馬守と云ふ方は風流家で、俳號を閑里と云ひ

雪の日や彼れも人の子樽拾ひ

と云ふ句を詠んだ方で、大名には珍らしい俳人で

思ひやれ使ふも人の思ひ子を
我が思ひ子と思ひくらべて

と云ふ古歌がございます、成程それに相違ございません又

我子なら共には遣らじ夜の雪

なぞと云俳句も同意儀でございますが思ひやれ使ふも人の思ひ子とは宜く申しました、奉公人だ稚丁だと申して無暗に打つたり、無理な事を云つたりするは宜しくありません、自分の倅が他に奉公に行つて居て無暗に打れ叩かれたりするのは已ずとその主人を怨むやうになります、思ひ遣つて使はなければならない、それが何うも思ひ遣る人は少くないもので、雪が降つて居ても行かなければ主人に小言を云はれる爲めに行く、大将は家に居て 亭主『アノ、今行かうと思つたが、それは宜いところへ來た、奴一合持つて來な』丁『ヘエ』〇『一合持つて來い』丁『熊さん又來るのは何んだから二合にしておくんなさい』熊『何んだ足惜みをして一合で澤山だ』丁『然うですか、雪が降つて居るから熊さん又』〇『何んだ無精な奴だ』と小言を云ふ仕方がない故一合持つて來ると 熊『奴一合で宜いつもりだつたが隣の八の野郎が來るンだ、二人で一合では足りねえ、モウ一合持つて來てくれ』〇『それだから熊さん先刻然う云つたのだ、また來なけりやアならない』熊『そんな無精を云ふな、行つて來い』丁『それは行くが、情けないや』と稚丁は零しながら又一合持つて來る 熊『濟ねえがモウ一合だ』〇『何んだ三合の酒を三度に然う云ふのは酷い人だ』小僧は客で仕方がなし又持つて來ました それは恰度五合位に當るで 熊『然うだとも』醉ひ人があるもので、斯る情を知つて安藤對馬守は先の句を詠みました、家事に疎ひ大名の句とは思はれません、對馬守は西丸の御留守居を勤めて居ります、例刻に邸に歸つて來る、まだ召物も更へませんに 對『コレ新之亟倅は如何いたした』新『先刻御下城に相成りお居間にお在でございませう』對『左樣か、では是に呼んでくれ、何うも不持な奴じや、又大久保も當家に如何なる遺恨があるか知らぬが、斯くの如き大事を彼の若年の右京、まだ天下の政治すら存知居らぬ者に申し付けるとは爲損じさせ安藤が家を瑕瑾を付けんと云ふ彼が心底に相違ない、然るを又彼子は速にお受けいたしたとは呆れ果た奴じや、イヤ困つたものである』と嘆げいて居る。

京呉服 京都永楽町一丁目 たまや出張店 電話二九六

齒科診療 野田醫院 本町一丁目三越向電話一〇四七番 齒科醫士 野田應治

五月十四日九星 舊三月廿四日丙戌 本命二黒坤建友引

▲二黒 理窟外れの事有る日新事見合東方は吉 眠劍坤▲三碧 胸におちぬ事有る日新事手控 芸事は吉向 事を謹まるべし▲四綠 平運の日 午前不印午後は吉新事手控舊事 萬事 妙なし▲五黄 感張て散財を醸さんとす 新事手控舊事は吉交際に注意せらるべし▲六白 味方多き日轉居入學命件名弘家作求職嫁婚取船舶求等 萬吉▲七赤 親和散日轉居開業入學求職命件名弘婚姻發子女を迎ふる等萬吉▲八白 大自慢の事有る日新事手控舊事は 吉保證連帶等を禁す▲九紫 天祐を得る日轉居行商求職 名弘命件建築普請を求る等皆吉▲一白 踊りつき主義の事有る日新事手控舊事は吉婦人と交渉を忌む

胃腸病と其療法

村井弦齋先生發見

總て胃腸の病氣は其筋が衰へで伸び縮む力が弱くなり食物が滯り腑が膨れ腹が張り重苦しく心惡く瓦斯が溜り腹が鳴り色々の症狀を起すのですが普通の藥は胃液の分泌を旺にするか胃液を中和する丈けで根治の道がないのです然るに村井弦齋先生發見のタラコンは胃腸の筋を引縮め機能を活潑にし消化を助け又腐敗の如き異性物を溶解しますので如何なる重症にも靈驗卓効があり昔は之を服すれば子を有する二十人壽を得る三百歳と稱し益氣補精の妙藥とした位で無病の人も連服すれば老に耐へ壽を得ます〇藥價煎藥一週間分一圓二週間分一圓九十錢散藥六十回分一圓送料八錢〇東京小石川下富坂町二〇無量壽藥園（振替東京二〇〇二二）

此頃の眼の病 腦の病

◎此頃の眼の病 此頃から五六月へかけては時候柄のぼせ目が多い、それから星目、角膜粒（俗に言ふ黒目の中へ出來る星）麥粒（俗に言ふものもらひ）疳眼と言つて黒目の周圍が鱗のやうになり、それが因で角膜軟化といつて黒目が溶けるやうになつて眼のつぶれる事のある病、木の楔や草の葉で一寸刺したのが因で大事になるつき目、それから誰も知るトラホーム、爛目の病が今一番多い。

◎眼の養生 凡べて眼は一寸した事が因で大事になる、世に物の見わない程情ない事は無い。だから少しでも惡いと思つたら直ぐ手當をせねばならぬ。それには直治水といふ目藥が健腦丸本舖として有名な丹平商會の製藥場の學者の研究で製造發賣されてゐる。此の目藥は効能が直ぐわかる程よく効く上に、其の製造が誠に親切で、例へば瓶や、添へてある硝子製の點眼器、ガーゼまで十二分に消毒してある。又此藥の瓶は透明にしてあるが、これは幾ら長く置いても沈澱などの出來ない事を示してあるので、此一事を見ても此藥の優れてゐる事が知られる。

◎此頃の腦の病 此頃はまた腦にも惡い時である。上逆せるから頭痛、眩暈、便秘などいふ故障が起り、腦神經衰弱やヒステリーの人などは餘計に病が惡くなる。斯ういふ時には何は措いても健腦丸は用ひる必要がある。

◎眼と腦との關係 眼の惡いといふ事も矢張腦に重大な關係がある。前田醫學博士の實地經驗のお話で、眼が惡いのを治したが爲に腦神經が良くなつた例を澤山擧げて居られる。然れば眼が惡い今の時季は腦にも惡い。故に腦を大事にする人は同時に眼を大切にせねばならぬ。

◎眼と腦との養生 島村醫學博士が有効を證明された健腦丸の腦神經ヒステリー等に對する偉効は既に世人の治く知られる所である。されば此の種の病者は勿論、常に頭腦を使ふ人、酒好きの人、それから頭痛持、便秘性、逆上性の人々は此際是非健腦丸を用ふべきで、同時に生目を多く使ふ人、夜更しする人、目が霞み又は目が直き疲れるやうな人は、たとへ眼病といふ程で無くとも、此の目の病に一番よい新しく出來た目藥直治水を一日一回宛使ふ樣にしてゐれば、目の爲腦の爲これ程安心な事は無いのである。

健腦丸の定價は十四日分四十錢から十週分五圓迄種々ある直治水は十錢、廿錢、各藥店にて販賣してゐる

髪をしなやかに 丈長がく
美しく房々と
漆のやうに黒くするは
廣い世界に「タッタ一つ」
パール 煉香油 があるばかり
……とは……
パール愛用者がおつしやる實話であります

本舖東京 平尾銑也商店
關西代理店大阪 平尾賛平支店

▼甚しき臭味を忍びて、肝油を飲用すべき時代は去れり▲
▼咀嚼して美味無臭、容易に定量の肝油を食用し得べき▲

河合龜太郎氏創製

◎肝油ドロップス

肝油含量一顆一グラム	一日二回乃至三回服用
五歳以下	一回一顆又は二顆 一日二顆乃至四顆
十歳以下	一回二顆又は三顆 一日四顆乃至六顆
十五歳以下	一回三顆又は四顆 一日六顆乃至八顆
大人	一回三顆又は五顆 一日八顆乃至十五顆

用法 普通菓子の如く食すべし、又鋏を以て細片に剪り冷水或は微温湯にて嚥下にするも妨げなし

定價	
五十入	金七十錢
百二十入	金一圓四十錢
複方百二十入	金一圓四十錢

本邦及英米國政府 專賣特許

滋養強壯料 肝油ドロップス

◎肝油ドロップス 肝油含量一顆一瓦にして麥芽糖及び可溶性含窒素物を以て成る滋養強壯料なり

◎複方肝油ドロップス 肝油の含量の半減して、有機鐵、有機燐及び石灰、規那等を含有せしむ

(現品縮寫圖)

肝油が一般の虛弱者、羸痩者、結核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對して治療上缺くべからざる滋養劑として、内科、眼科、小兒科等の醫家に處方せられ、卓効を奏するは、醫療上の定論なり、然れども其特有の臭味、甚だしく不快なるが故に、其服用を嫌忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果、形狀洋菓ドロップスに似て、麥芽糖及び可溶性の含窒素物を基礎とし、一顆毎に精製純良の肝油一瓦宛を正確に含有し、乳化完全にして、分布極めて細密、美味無臭にして而かも容易に食用し得べき「肝油ドロップス」を創製す、本品は從來の肝油諸製品に優り、服用に面倒なる手數、携帶の不便、變敗の迅速なる等の缺點なく、殆んど本質の肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も好んで食用し得ると、酷暑の候と雖も、冬季と異る事なく、消化吸收の作用頗る良好なる事とは本品の最も優秀なる特色とする所なり

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. ...... 120 Drops in a bottle ¥1.40
MITSUWA COMPOUND COD-LIVER OIL DROPS. ...... 100 Drops in a bottle ¥1.40

Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops are round-candy drops of small size, fragrant and pleasant to the taste. Each contains a guaranteed amount of one gram of Cod-Liver Oil. In its nourishing quality, taken without taxing the stomach, taken in so small a size, the Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops far surpass any other cod-liver oil preparations on the market.

Mitsuwa Compound Cod-Liver Oil Drops differ in that they contain one-half amount of Cod-Liver Oil and are supplemented with the effective element of iron, phosphorus, lime and quina.

如斯人は滋養料◎肝油ドロップスを用ふべし

一、顏の色が蒼白くて艶無き人
一、皮膚の紋理が惡くザワ〈〈してゐる所謂あれ性の人
一、身體一般に貧血してゐる人
一、是といふ病氣はなくても何と無く弱く感冒に罹り易い人
一、筋肉の目立て痩せてゐる人
一、手足が冷えて凝られぬといふやうな纎弱い人
一、色が蒼くて肉痩せ、而して活潑ならぬ所謂腺病的の小兒
一、頸が細長く、頬が痩け、咳嗽や痰の人並より多く出る所謂結核素質のある人
一、筋肉を太らせ、無病壯健に元氣よく活動せんとする人
一、身體一般に脂肪氣の少き人
一、顏や手先きを滑こくし度人
一、産前産後の滋養を計らうとする人

如斯人は滋養料◎復方肝油ドロップスを用ふべし

一、骨の故障即ち佝僂病骨軟化其の他種々の骨病ある人
一、營養不良から來れる眼病、例へば夜盲症や網膜貧血に罹れる人
一、腺病（瘰癧）に罹れる小兒
一、發育不全の小兒
一、貧血症になつてゐる人
一、肺結核其他結核的の病に罹つてゐる人
一、腦神經衰弱、ヒポコンデリー、ヒステリーなどの神經病に惱まされてゐる人
一、陰萎、遺精などの生殖器神經衰弱に罹れる人
一、病後の衰弱を速く回復したい人
一、心臟病に罹れる人
一、右の外種々の病に罹つてゐる人の滋養物として理想の良食物である

▲賣捌＝全國到る處の藥舖、洋酒食料品店、化粧品店、小間物店▼

本舖 ミツワ石鹸 ミツワ家庭藥 規那鐵葡萄酒 肝油ドロップス 御園化粧品

發賣元 ◎ 登録商號 丸見屋商店

東京市日本橋區橘町四丁目 藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋

電信略號〇ミヤ……振替口座東京七一〇番 營業部電話浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

京城日報

第三版
五月三十日(夕刊と合せて八頁)

京城講壇

歐洲戰亂と英國の經濟政策

人見次郎

近回の歐洲大戰が、交戰國は勿論世界各國に對し各方面に深甚なる影響を及ぼしつゝあるは、茲に新しく申述べるまでもない。即ち英吉利及び日本を除く各交戰國は、戰時財政の調節上總て兌換を停止して、盛んに不換紙幣を發行し、露西亞の如きは一哥の紙幣までも發行し、佛蘭西の如きも各都市の商業會議所に紙幣の發行權を附與して、北部市以外には通用せざる十サンチユーム、一フランと云ふやうな小紙幣を發行して居る現狀である。而して交通機關は大部分軍用に徵發せられ、海上は甚だ危險にして物資の配給意の如くならざる爲め、食料品其の他總ての物資は驚くべき暴騰となり、獨逸とは交通が一切杜絕せるより、從來各國が其の供給に俟てる各種の化學藥品、機械類等基礎的工業材料は悉く輸入杜絕して混亂の狀況に在る事は、影響の大小多少は有りとしても、大體に於て各國共通の現象である。然し此の間に自分が特に深く興味を感じた事は、英吉利の國策殊に經濟政策の根柢に動搖を來しつゝあるの一事である。御承知の如く世界の國らしい國の中で、全然自由貿易主義を遵守して、國內產業保護の爲めに國家的政策を加味せざる國は、英吉利以外にはあるまい。自由貿易主義と云へば經濟學の舊學派に屬するもので近世學者の多く採らざる所であるが英吉利が全然此の主義に則り、國內の各市場を世界に開放して、來る者は拒まず、去る者は追はず、安價なる商品を能ふ限り世界の各部面より買求めて其の需要に充てると云ふ主義で、聞く所によれば世界の有りとあらゆる物品、物らしい物にして倫敦で得られぬは無いとの事であるが、斯の如き經濟政策を執るも、猶ほ產業の衰退を招徠することもなく、世界列國の覇王として其の勢力を維持しつゝあるを多少不思議に思ふてゐたが、這回の戰亂に依つて、其の大風呂敷の經濟主義に動搖を來しつゝあるのである。何分にも英吉利が先進の老大國として永年蓄積せる富の根柢は牢乎として拔くべからざるものあり、加ふるに全世界に亙つて廣大なる領土を所有し、世界に卓絕せる海軍及び商船を所有して居るから、區々たる國家政策に籠居せずとも、世界各地より意の如く物資を蒐めて不自由も感ぜず、少々の輸入超過位あつても、或は各方面に投じたる資金の利子、或は船舶運賃、或は保險料金等各種收入の途が有るから、貿易上の不權衡を償ひ得て餘りあるので、從來は極めて泰平であつたらうが這回の大戰が足元近くに起つたので、海軍は北海も英國海峽も之を防備しなければならず太平洋は同盟國の日本に信賴して安心は出來て居るが、大西洋航路の安全は圖らねばならないから、軍艦の數が多くとも、護るべき海面は廣い、[illegible]時々獨逸潛航艇に襲擊せられて危險を感ずると云ふ有樣である、自分が昨年十二月下旬佛蘭西から英吉利に歸る時分にも船客の一人はサウサンプトンとハーブル間の一般乘客の爲めにする每日定期の航海も旅客の生命の安全を確保する事が可能ないので廢航されるとの噂もあると話して居た位で海上頗る危險である。又英吉利は多數の商船を所有し、今日でもグラスゴー、ニユーカツスル、ベルフアスト等の造船地では盛んに建造しつゝあるから少し位潛航艇にやられても構はぬ樣であるけれども、戰爭が大規模である丈け軍用に徵發さるゝ船舶の數も夥多であるから、著しく船腹の不足を感じて居るのである。即ち斯の如くにして物資の供給も意の如くならず、食料品の不足を感じ、剩へ獨逸の供給も困難となり、工業材料の供給も困難となり、染料、藥品機械類等の工業必要品の輸入全く杜絕し各方面甚だしく困色を呈して來たのである是に於て英國政府は船腹調節、贅澤品の輸入禁止、食料品調節、工業調節、勞力調節等廣汎なる政府の施設に依りて即ち產業經濟界の實權の大半を政府の手に收めて戰時非常時の物資需給の關係を調節する事に努めて居る、斯る大事に遭遇して見ると流石に泰然たりし英國も既往を反省し將來の國策如何を研究するの必要を感ずるので先づ既往に於ける產業經濟の實況を調査すると從來の產業及び經濟政策の結果種々の缺陷を暴露し、又獨逸の爲め蹙り居たる壓迫の程度も少なくなかつた事が段々明瞭になつて來たのである。

第一食料品問題に關聯して、國內に於ける農業狀態に就いて研究せる結果に依れば、英本國一ケ年の食料品消費高は一箇年約二十六億圓にして此の中外國より輸入した額は二十億圓、其の殖民地よりの輸入が六億圓、英本國內の產出が約二十億圓で、價額に於て六割近くも外國の供給を受けて居るのである。數量から云へば外國品は多くは英國品より安價であるから七割位も輸入して居るのであらう而して一方國內の農業狀態は今日迄如何に成來つたかと云ふに英吉利の農業は千八百七十年以前迄は益進の勢を示してゐたが、爾後漸次衰退に向ひ、殊に戰前數年來穀價低落し、土地の收益少なく、[illegible]耕地は[illegible]を要せざる草生の牧場と化し[illegible]な促進し、[illegible]農民は田園を捨て、都會地に集中する風を助長するに至つた。自分が一貴族のエステートを見た所に依るも、其の附近は耕地よりも草生の牧場地多く、又遊獵の爲めパートリチ杯の蕃殖の爲めに、或は玩賞用の家畜飼養の爲めに使用され居る草地の面積も尠からずあつた。汽車の窓から一見しても英吉利の富の九割以上は都會に集中し、農村方面は捨て、顧みぬといふ事は實際を目擊した人の均しく抱く感であらう。若し農業方面に今少しく意を用ひたならば、大體日本本土と同面積の英本國面かも山は殆ど無く坦々たる平地のみであるから、利用の範圍が非常に廣汎であるし人口は四千五百萬人と云ふから、是位の人口を養ふに必要なる物資を得る事はさまで困難ではあるまい。又實際其の道の調査に依つても優に可能る計算であると聞いて居る。兎に角上述の如き狀況よりして農村の物資に著しき不足を見るに至つたので、今日に於ては農業の振作といふ事が、朝野の間に一の重大問題となり、政府は從來の方針を一變して、農業に對して獨逸の如く保護の方針を採り、先づ農業敎育の制度を完備し、一方農民の協同作業(組合組織)を獎勵し、土地を小分して自作中小農の增加を圖る等の[illegible]ざる[illegible]からずとの議論が有力者に唱へられつゝあるの實現である。更に又頗る緊要なる計畫としては、一には戰後除隊兵の爲めに安全なる就職の途を與へ無職に苦しむ者なからしむると云ふ社會政策上の意味と、二には漸次施行せられたる徵兵令の成績に鑑み、國民の精神及び身體の最優良なるは農民であると云ふ事が判明した結果、將來基礎的國民は須らく農民に之を求めねば成らぬと云ふ國防上の意味と前述の農業振作の趣旨と包含して目下召集せられ居る壯年の兵卒が戰後除隊されたならば、之を農民として英本國內に殖民しやうと云ふ頗る雄大な計畫さへもある。現に或る一部分には試驗的に[illegible]

第二、工業方面に於ても、各方面に[illegible]種々の缺陷が現はれ、染料の[illegible]萬圓で內英國產價に二百萬圓で、他は殆ど獨逸より輸入する有樣であつたが、近時輸入杜絕の爲め頗る窮狀に陷り、政府は捨置難しとて急に二千萬圓の會社を組織せしめ、百萬圓を政府より補助して其の製造を奬勵すると云ふが如き、英國としては曾て見ざる保護事業を創設するに至つた又鋼鐵其の他の鐵類の如きものも英吉利より獨逸に向つて輸出せるもの一年やつと二千萬圓位であるが、獨逸よりは英吉利に反て九千萬圓を輸入し、機械類にしても、英吉利より獨逸に二千五百萬圓を輸出し居りしに對して、獨逸よりは五千萬圓も輸入して居たと云ふ有樣で、工業上にも少なからず獨逸勢力が浸潤して居つたのである。

第三、貿易の狀況に於ては、英國商人と言へば世界到處信用最も厚く英國商品と言へば、最優良なる商品として世界に認められ其の商權は强大なるものではあるが、所謂自由主義、個人主義に依つて個々別々の商業振りになつて居た爲め、商業上に於て、獨逸の爲めに漸次浸蝕されつゝあつた事は甚だ尠くなかつた、其の調査した所に依れば、獨逸商人は結束協同して、大膽なる長期の信用貸をやる、之は一方貿易銀行が組織されて居る所で、貿易銀行は充分商人を援助するから長きは四年位の信用貸を爲て商品を貸附け以て其の販路を開拓する。英國は之に反して何等特殊の機關なく、離れ〳〵の商業をやつて居るので獨逸の爲めに何時の間にか販路を蠶食されて居る。又獨逸の駐外使臣等は、極めて具體的にして適切なる注意を當業者に與へる。斯〳〵の商品を此方面に斯くして[illegible]れば、販路を獲られると云ふ[illegible]アドバイスを與へるが英吉利の官憲の報告は……無用ではないが……寧ろ迂遠である。此の外一般に獨逸商人の遣方は極めて辛酷で、英吉利商人若くは英吉利商品の信用有るのを見て、英吉利內に商店を設置し、獨逸製品を英吉利製品として商ふて居る者も尠なく無かつたと云ふ事である。

以上の如く從來の經濟政策の爲めに農業は衰退の傾向を呈し、獨逸の爲めには工業上、貿易上諸種の壓迫を蒙り居る事を發見したので、英吉利產業の基礎を鞏固にし、國內に於ける生活必需品の自給、大に[illegible]して充分贍足を伸べやうとするには從來の自由貿易主義に放任して居ては駄目である、宜しく國家的政策を加味して、統一[illegible]ぬと云ふ議論[illegible]喧しいのである。又殖民地との關係も、從來の如く殖民地自治で離れ〳〵にして置いてはいけないから大英帝國の組織を完成して國家的にも經濟的にも其の間の結束を固うするの必要があるとの議論が盛んに唱道されて居る。

[illegible]て財政の方面より觀れば英國の歲計は戰前二十一億圓餘であつたが戰時に至つて二百億圓にも上つたと云ふ事であるから、戰後の財政は公債償還、從軍者に對する各種の救濟費等の負擔が頗る增加し歲計は如何に少なくも三十億圓以上には上るであらうと云ふ事であり、更に若し戰時擴張されたる陸軍の維持が必要と云ふ事になれば一層歲費は增加するであらう。而かも英國の收入は彼のグラツトストン時代には所得稅家屋稅土地稅等の直接稅は三割六分であつたが戰前既に五割六分に上りて非常の增加を來たして居るのであるから如何にしても廣く課稅でも設けて間接收入增加の途を圖らなければ、國民は負擔に堪へないと云ふ事情も有る。併しながら永く其の自由貿易主義に慣れた英國人としては關稅政策に依る保護主義の實現は困難であらうとも思はれるが、產業上並に財政上の方面より考へれば戰後英國が自由貿易主義より保護貿易主義に一轉するではあるまいか。又產業政策が個人自由主義から一變して大に國家的色彩を帶ぶるのであるまいかと推測し得べき充分の理由が有る樣である。又殖民地の統轄に付いても關稅政策國費分擔等の方法に依つて、大英帝國主義を實現するではなからうかと想像されるのである。若し斯の如き推測が實現されたとしたならば、日本の經濟產業の上に於ても、戰後恐るべき影響は、世人の謂ふが如く、單に獨逸のダンピングのみではなからうと思はれる。

更に顧つて日本の產業狀態を顧みると、農業は幸にして英國の樣ではないが、主要の食料品たる米麥の產出は漸增の勢であるから前途悲觀すべき理由はないが、各種原料品の生產に至つては我領域內の天然の資源が豐富ならざる憾みあるも人爲の最善を盡して其の生產增殖に努力するの必要があらうし、農業組織に至つては農民相互の共同共助の組織、中小自作農の保護增殖等大に施設改善を要するものがあり又工業は年々進步しつゝあるが、鐵類、機械類、化學品の製造等基本的工業は未だ微々たる狀態であるから我工業の基礎を安固にし堅實なる工業の隆昌を期せんとするには、此の方面の發達に一層力を用ゆる事が急務であらう、又貿易方面に於ては日本人一流の個々別々の同士打、投賣の競爭、粗製濫造の弊は依然として改まらず當業者と銀行との相互の連絡も充分だとは言へない、向後の對外競爭の上には貿易組織に付ても一段の工夫を必要とする事と思ふのである。

湖南詩壇

〇備院偶拱 江原 如水
佛前相投襲。壁下互吞幷。三岑無消息。只聞敵局聲。
評曰 空淸如話。情味無窮。

〇梅花書屋圖(限韻) 高田 小芥
梅花繞屋密相仍。雪壁香腦旛幾層。天秘玲瓏無垢境。月前獨著讀書僧。
評曰 奇譎幽艶。神采逈異。

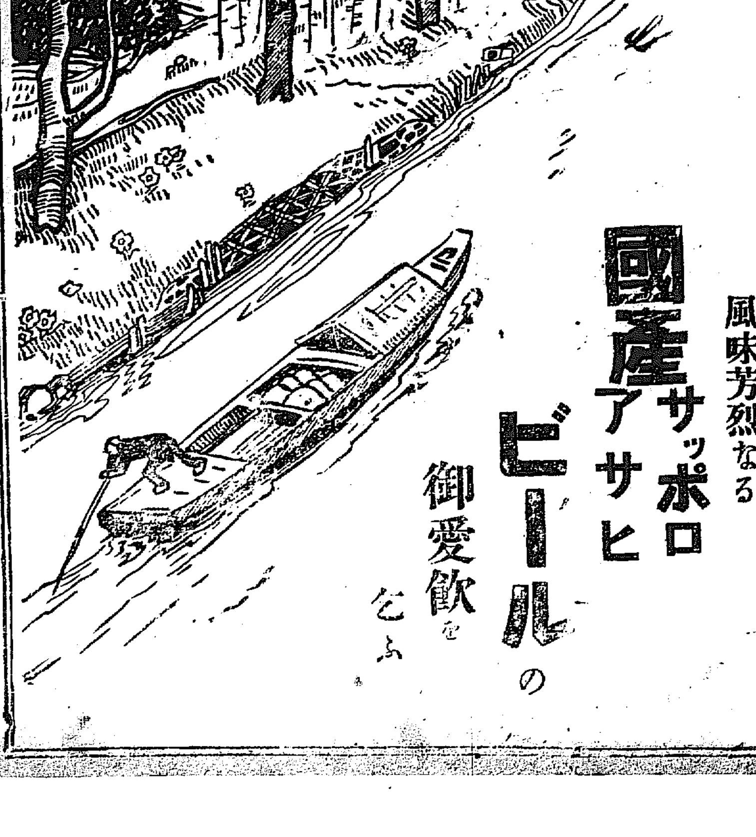
〇春夜訪友 兒島 九泉
淸宵曳杖訪知人。詩酒笑談情轉親。況近玉梅花上月。玲瓏吟出可憐春。
評曰 玉韻朗朗可誦。

日報歌壇

鈴木吉稲子
漢江の河原の石も貝がらもうろめる眼して光る春の日
麥青くそよぐが中に聞へ來る漢江里畔の晩の水

谷口 江花
苗さす夕やげこやけ空みれば遠居る人の思ひ出さるゝ
遊女屋の蜜の小窓に顏を寄せてうらわか女郞がなげくはつ夏

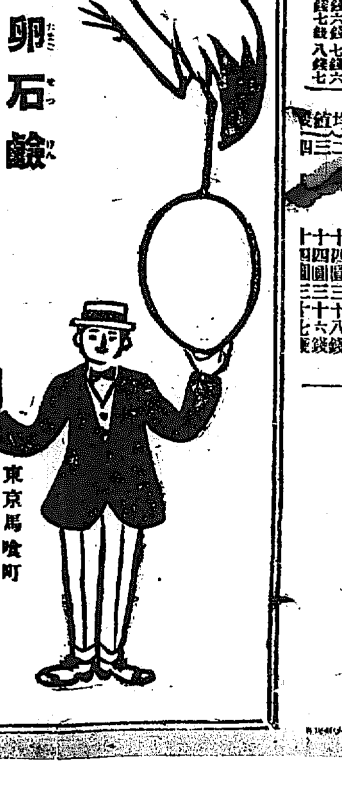
淸水 生
汽車を下り素足になりて歩みたしまた芽ぶき光る草原
水裏を踐にせので朝鮮の乙女桃桃の蔭を行くかな



花の纛島
漢江湖上の舟遊び
殊に奉恩寺の大野遊會へは
一點の非難の無い
風味芳烈なる
國產サッポロアサヒビールの
御愛飮を乞ふ

廣島高等師範學校教授高橋豐夫先生序 小野貞助先生著
四六版洋裝美本 定價六十五錢 送料六錢
發見的幾何學 附 着手法新研究
最新刊頗好評
發兌 大阪東區南久宝寺町一丁目 電話南四七六七番 振替大阪三八四七九番 魁文堂 賣捌全國書店

鶴の卵石鹸
古きを温ねて新らしきを知る
鶴の卵石鹸は廿年もの昔から賣れてる品ですが現今の石鹸に比較べて、品質がよろしい。徳用である、經濟である、といふ事は一度本品を使へば確かに解ります。昔の使用者も新らしく一度使つて御覽下さい。引續いての需用者は尙引續いてお使ひ下さい。未だ本品を使はぬ方は早速使つて御覽下さい。
東京馬喰町 淺井支店



段内閣遂に瓦解か

十日の暴動事件に關し程海軍總長も亦辭表を提出せり黎總統は慰撫使を派遣したるも留まる可くもあらず斯くて閣員は餘す所伍外交總長范教育總長の兩氏あるのみにて段内閣は事實上瓦解せるものと見るべし(北京特電)

獨逸講和條件一說

維也納を訪問せる結果巴威シュリウヘルトリング伯は宣言して曰く獨逸の講和條件は損害賠償を要求せず單に戰前同樣海上貿易の許容、捕獲せる船舶及占領せる殖民地の返還を求むるにありと(倫敦電報)

露、國歩難救濟方策

露國臨時政府は九日外交に關する方針を聲明し閣僚を增加し同時に新人物を入閣せしめて國歩の困難を救ふべき方策を公表せり勞働者兵士代表者は一日聯合内閣の件を議すべし(露都電報)

米國徵兵案上院通過

米國上院本會議に提議されたる强制徵兵法案は大多數を以て可決通過せり(紐育電報)

臨時議會召集詔書

十一日臨時帝國議會召集並に開期に就き左の如く詔書下れり(東京特電)

詔書

朕帝國憲法第七條及第四十五條ニ依リ本年六月二十一日ヲ以テ帝國議會ヲ東京ニ召集ス

御名御璽

大正六年五月十一日

各大臣副署

詔書

朕本年六月二十一日ヲ以テ召集スル帝國議會ハ二十一日ヲ以テ開期トナスベキ事ヲ命ズ

御名御璽

大正六年五月十一日

各大臣副署

英軍進出敵夜襲擊退

ヘーグ元帥の公報に曰く九日ブルクールの激戰繼續し敵軍は英軍の支持せる敵軍陣地を動搖せしめんが爲め屢々高價にして而も無效なる攻擊を行ひしにも拘らず英軍は更に進出し夜間局部的戰鬪に移りスーシエー河の東方及び南方に戰線を進め敵軍掩護線中の一部を奪取し同地北東における敵軍の夜襲を擊退したり(倫敦電報)

英海軍偵察隊の活動

英國驅逐艦の偵察隊は八日午前英國と和蘭沿岸との中間にて十一隻の獨逸驅逐艦を目擊したるより直に接近し砲火を開きしに敵は忽ち全速力を以て濛々たるスモーク、スクリーン(黑煙を夥しく吐きて視界を遮るをいふ)の下に南方に遁走し英艦は一時二十分間に亙りて追躡し敵艦がゼーブルッグ港の彈程に入る迄追擊して命中彈を送れり(倫敦電報)

樺山大將受章

天皇陛下には十二日午前十時三十分宮中鳳凰の間に出御、波多野宮相以下侍立の上左の通り勳章親授式を行はせられたり(東京特電)

海軍大將正二位勳一等功二級伯爵　樺山資紀

授旭日桐花大綬章

日米協會總會

寺内首相演說

日米親善に資する爲め朝野の名士を網羅して創設されたる日米協會は十一日午後七時より銀行集會所に開き内閣各大臣、米國大使館員以下三百餘名の來會あり宴酣なる頃米國大使代理ホイラー氏は起ちて　天皇陛下の爲めに乾盃の辭を述べ金子子爵の開會の辭あり次で寺内首相は「惟ふに我が帝國が開國進取の國是を定むるに當りて米國に負ふ所多し日米兩國は人道を重んじ平和を愛する點に於て五十年曾て渝らず今や米國の參戰に依つて相倶に世界共同の敵を討つ兩國民の益々親睦の實績を擧ぐべき秋に際し兩國朝野有力の士を會して本協會を組織

東宮御還啓

東宮殿下には關西舊蹟御見學を了へさせられ十二日午後六時三十分御機嫌麗はしく東京驛御著　兩陛下御使、兩皇子御使、三好傅育官長、東鄉御學問所總裁、寺内首相、波多野宮相其の他文武官の奉迎を受けさせられ東宮御所に還啓相成りたり(東京特電)

し歡笑の裡に友誼を温むるを得るに至りしは誠に慶祝すべき事なり希くは本會創設の眞意を徹底し益々兩國の交誼の密にして能く時世の要求に應ぜられん事を」との意味にて演說を爲し次で本野外相米國總領事シドモア氏大隈侯爵ペーチアード氏德川公爵澁澤男爵アッキュア氏等の演說あり終りに本協會設立の爲に盡力せる故ガスリー大使の爲に無言の乾盃を爲し午後一時散會せり(東京特電)

御慰問使消息

御慰問使内山大將は憲兵隊及第七十四聯隊にて聖旨を傳達の上午後一時三十分發輕便鐵道にて西湖津に向け出發せるが清津著は十四日午後五時の豫定なり(於咸興特派員發電)

敵地產品入禁

敵對取引禁止令の實施に伴ひ敵地產品にして内地、臺灣又は樺太より積戾され朝鮮に移入するものは同令の輸入に該當するが故に當然之れが適用を受く可きは勿論なるが尙ほ内地臺灣又は樺太に一旦輸入せられたる敵地產品の朝鮮に移入する場合に於て移出狀又は輸入免狀若くはこれに代はる可き書類を提出せしむるは積戾品にあらざる認定上最も確實なる可きも一々之が提出を强ひ難き場合には包裝仕出地其の他の狀況に依り積戾品にあらざるや否やを認定し只だ疑はしき場合に限り右證據書類を提出せしむることゝなれり

群山に精米會社

大阪米穀輸入業者の計畫

大阪の米穀輸入商木谷伊助氏等は去八日突然來釜し釜山視察の上九日夜行列車にて群山に向ひたるが諸氏は單に商況視察として來鮮したるに過ぎずと語り居たるも斯く單純なる視察にあらずして何物か重要なる調査の爲めなるべしと推測したりしが果して諸氏來鮮の目的は今回大阪米穀輸入業者の重なる人々の合資を以て群山に資本金二十萬圓の一大精米會社を設立すべく之れが調査の爲めにして既に大體の目論見は成立し居れる趣なるも聞く處に據れば今回釜山視察の結果玄米の買付は群山に於て爲すの有利なるも輸出の點に於ては運賃の關係其他移入の設備等に於て釜山の勝れる如くなるを以て一應群山に於て調査の結果彼此對照研究の上場合に因りては玄米の買付は群山に於て行ひ精米所は釜山に設置すべきやも計れずと(釜山)

府稅負擔額

大正六年度京城府稅の豫算額は二十四萬九千八百十二圓にして前年度二十四萬五千二百五圓に比較する時は四千六百七圓の增加を示し内市街地稅附加稅四萬五千圓家屋稅附加稅二萬七千圓特別戶別稅二萬六千二百九十三圓營業稅八萬五千八百三十三圓電柱稅四千三百四圓雜種稅六萬一千三百八十二圓を算せるが此の稅額の内十五萬三千八十二圓五十錢は内地人の負擔、九萬四千十圓五十錢は朝鮮人の負擔、六千六百八十九圓五十錢は外國人の負擔額なり今之を一戶當一人當に換算すれば内地人戶數一萬七千六百九十九人口六萬七千三百十人即ち一戶當負擔八圓六十四錢九厘一人當二圓二十八錢四厘となり朝鮮人に在りては戶數三萬九千八百二十三人口十八萬三千八百六十六人、一戶當二圓二十六錢一厘一人當四十九錢となり又外國人側に在りては戶數五百六十八人口二千百七十二人一戶當十一圓九十四錢六厘一人當三圓八錢となる割合を示せり即ち内、鮮、外人を通算平均すれば戶數五萬八千八十二人口二十五萬三千六百八十一戶當負擔四圓三十錢一厘一人當負擔額九十八錢七厘となる譯なり

軍司令官歸任

南鮮駐劄各部隊巡視中なりし秋山軍司令官は松井參謀千輪副官を隨へ十二日午後八時五十分龍山著列車にて歸任せり

前年咸北輸出牛

大正五年中咸北牛輸出は九千八百九十四頭價格四十五萬七千四百七圓にして大正四年に比し百三十頭價格十一萬一千二百五十九圓を增加す而して以上の中海路城津より内地に移出されたるもの四百七十五頭二萬一千八百二十五圓を除き他は全部豆滿江沿岸より對岸露領支那に輸出されたるものにして大部分は露領なりとす(清津)

山梨中將入京

教育總監部本部長山梨中將は谷參謀を隨へ十二日午後九時南大門驛著立花師團長古海警務部長高橋武官隈部部長其の他駐劄軍及び師團各將校在鄕軍人會員の出迎を受け旅館天眞樓に投宿せり中將は十三日總督を訪問し十四日龍山各部隊を視察し十五日元山及び羅南方面に向はるゝ筈なり

藤山氏一行入京

日本製糖株式會社長藤山雷太及び同社重役岡村左右松の兩氏は十二日午後七時三十分南大門驛著列車にて入京巴城館に投宿せり

木浦の棉作十年記念會

小原長官臨場=未曾有の賑ひ

十二日午前十時より全羅南道陸地棉栽培十年紀念會を木浦松島公園に於て擧行す朝來氣遣はれたる空模樣は式開始頃より持ちなほして降らず照らずの好日和となりたり式は紀念碑工事報告に初まり椿本府尹令孃ひろ子綱を取りて除幕の式を終へ其より左記小原長官の

▲總督祝辭代讀　及び本田勸業模範場長、宮木道長官、澁谷忠南、大久保全北兩一部長の式辭朗讀あり終りて全羅南北、慶尙南北、忠淸南北六道の陸地棉耕作者四十七名の表彰及び棉作獎勵の功勞者三十七名に對する

▲記念品贈呈　報告ありて式を閉ぢ祝餅を撒きて散會したるが來賓としては上記の外南鮮六道技術官平北の佐藤技師其の他木浦在住官民二百餘名に達し頗る盛會なり市外は園旅球燈を飾りて景況を添へ木浦近年稀なる賑を呈せり正午よりは木浦新報社主催の下に棉作

▲組合表彰式　を木浦小學校に於て催さる午前の紀念碑除幕式に參列したる小原長官以下全部列席し長野主事の式辭及び報告小原長官本田模範場長、宮木道長官、富家地主會長等の祝辭あり次で全南二十の棉作組合に對する賞狀の授與を終へ午餐の饗應あり更に模擬店を開き博多二輪加、筑前琵琶數番の餘興に歡を盡して二時散會せり其れより午前の續きとして記念會の催しに係る公會堂に於ける南鮮

▲六道產棉花　陳列及び繰綿工場の觀察を爲す夜は七時より公會堂に於て盛なる宴會あるべし(木浦特電)

▲總督の祝辭

朝鮮の風土は概ね棉花の栽培に適するに依り曩に當局は棉花栽培協會を企畫し之と相應じ陸地棉を南鮮地方に試作せしに其の結果良好にして收量、繰綿歩合共に在來棉に優れるを認め爾來官民力を協せて之が普及獎勵に努むること既に十年大正五年に至りては南鮮六道を通じ其の栽培面積約五萬町歩に及び繰綿工場亦十餘を算し更に大正六年に於ては栽培面積七萬町歩に達せむとするの趨勢に在り是れ寔に慶すべきなり此の時に當り木浦商業會議所會員相謀り陸地棉栽培地の沿革を刻し碑を建て以て本日の式を擧ぐ亦盛なりと謂ふべし今や内地に於ける綿絲紡績業の時運の進展に伴ひ益々原綿の需用は年と共に多きを加へ其の輸入額約三億圓に達せむとするの狀況に在り隨つて朝鮮棉花の增收を圖り之が需用を補充するは獨り農民の利益を增進するのみならず亦實に邦家經濟の伸展に資する所以なりと謂ふべし式に臨み祝辭を陳べ併せて官民一致彌々之が普及の實を擧ぐるに努められむことを望む

大正六年五月十二日　朝鮮總督

間島鮮人視察團日程

間島鮮人視察團七十名一行は十日間島出發十五日清津を經由して十七日午後京城著の筈なるが其京城市内視察日程を聞くに左の如し

▲十七日午後京城著▲十八日午前總督府、警務總監部午後商品陳列所、京城郵便局、朝鮮銀行▲十九日午前京城日報社、昌德宮、午後濟生院養育部、同盲啞部、京城恩賜授產場▲二十日午前水原勸業模範場、農林學校、原蠶種製造所、道慈惠醫院▲二十一日午前京城恩賜機業場、昌德宮秘苑、勸植園午後總督府醫院、中央試驗所▲二十二日午前校洞公立普通學校、女子高等普通學校、高等普通學校同附屬學校午後東亞煙草會社製造所▲二十三日午前龍山兵營午後自由行動▲二十四日午前仁川行、永登浦皮革會社仁川府築港視察觀測所▲午後京城出發

秋山大將招宴

秋山軍司令官は十三日午後七時より軍司令部官邸に於て晩餐會を開き駐劄軍會計檢査の爲め目下入京中の平塚會計檢査院部長を主賓とし總督府荻田總務局長其他を陪賓として招待すべしと

山梨中將招待

神奈川縣人會にては山梨中將入京に付き十三日午後一時同中將を西大門教育俱樂部に招待し茶話會を開く由

松平理事東上

東拓總務部長子爵松平直平氏は堀江庶務課長を隨へ十三日午後七時五十分南大門驛發列車にて株主總會列席のため東上の途に就く由

濱岡光哲氏入京

京都商業會議所會頭濱岡光哲氏は十二日夜入京朝鮮ホテルに投せり

柳河人茶話會

柳河中學傳修館生徒修學旅行として十三日夜入京の筈につき同校出身者有志は十四日午後七時より京城日報社來青閣に於て歡迎を兼ねて茶話會を催ほすべく一般同鄕人の來會を希望する由にて會費五十錢なりと尙ほ當日は立花師團長より學生に對し一場の談話あるべしと

山口高商生徒入京

山口高等商業學校生徒滿鮮視察旅行團約五十名は燕田、德重兩教諭引率五月二十四日午後七時三十分滿洲より平壤を經て入京の豫定なり

◉京城魚市場成績　京畿道管内に於ける各魚市場四月中の賣買高は

京城府市場一七、六四〇貫二〇、五七一圓龍山水產會社七、一九四貫九、五一三圓京城日之丸市場五、九一七貫九、一六〇圓仁川水產會社九、七一五貫八、六六九圓合計四〇、四六六貫四七、九一三圓なり

露領沿岸鰊不漁

露領沿岸漁場の鰊漁本年は浦鹽以南漁場の鰊漁不漁なるを以て買取に困難なるもの如く何れも船腹を滿すに至らず清津港に歸港せる[illegible]千餘尾の鰊を示せり而して本年に歸港船は未だ其半にも[illegible]相場は生にて九圓内外を唱へり(清津)

人事消息

▲永田包雄氏(海州監獄典獄)十二日夜入京南大門旅館へ▲祇園誠夫郎氏(大同生命專務)同上浦尾へ▲小川秋藏太氏(大阪會社員)同上天眞樓へ▲稻田二郎氏夫妻(實業家)十二日朝退京

南言北語

歐洲大戰も何だか妙にだるくなつて來たが▲相も變らず獨逸では大分空想に耽つて居るらしい▲兎に角獨り物事を取り決てかゝる橫著に構へるのは獨逸に限るが▲早や講和會議の國語なぞに付ても獨逸では議論が現れて居る▲一體來るべき講和會議には英米が佛白に對する同情と敬意からして讓歩せない限り英語を用ゆるに違ないが▲獨逸の國語協會は宰相ホールウェッヒ君に向つて建議して曰く▲講和會議の席上外の國語は一切用ひぬやうにして貰ひたい▲其の尻馬に乘つてクロイツァイツング紙は最も機宜を得た建議だ▲宰相も無論異議はあるまい▲併し國語問題よりも尙ほ肝要なのは講和會議の場所問題である▲獨逸は戰勝國の首位を占めて居るから其の首都伯林であることは勿論であるが▲何分未曾有の大國際會議であるから豫備會議が必要だ▲其の時は恬な條件を提出して戰敗國に强制すれば好い▲など得意になつて種々の事を書きたてゝ居るのは片腹痛い▲獨逸が講和とか何とか云つたつて斯う云ふ風では到底協商國は浮つかり掛合は出來ぬ▲獨逸國民は依然たる戰勝國民だと思つて居るらしい之れ丈け自惚が强ければ申分はない▲支那の議會も愈々大騷ぎに騷ぎ出した▲電話を切斷して議員を議會から一歩も出さぬなんて隨分思ひ切つたやり方だ▲だから議員も腹が減つて大事の宣戰問題の討議も出來なかつたんだらう▲支那の議員も命がけでなければならぬが▲其の大騷ぎの眞最中へ張勳老人がニューと出て來たなんて愈々以て何か始まり相な

春川

◉春川

▲農業學校植林實習　春川公立農業學校第二學年生約四十名は各自糧食を携帶し春川、李欽臨引[illegible]該山林は數年前現野村校長の斡旋の下に無償拂下を以て得たる約四十町歩餘の申分なき演習林なるが同校よ[illegible]鐵破[illegible]の斷崖峠を踏破し春川草[illegible]り奉職中の在勤滿五箇年[illegible]狸運中を以て組織せ[illegible]

九時半無事閉會▲郡守轉任　本道華川郡畜產主任技手金谷鐵藏氏は今回原道警務[illegible]任し[illegible]個月の猶豫を以て管内巡視の途に[illegible]

▲警務部長出張　[illegible]隨員四名と共に約一[illegible]

宇治茶直接販賣

新茶走り　◎玉露製　一圓九十錢　二圓五十錢　◎煎茶製　一圓廿五錢　一圓五十錢

御銘茶定價表(二百目ニ付)

◎玉露製　寶樹園　十圓　老の梅　七圓　桂の香　五圓　南の薫　四圓　旭の露　三圓　菊の節　二圓五十錢　龜の生　二圓　相生　一圓五十錢　松の節　一圓三十錢　正顧園　一圓廿錢　玉貫粉　一圓

◎煎茶製　特製聚樂　一圓五十錢　井六園　一圓廿錢　國の司　一圓　宇治の里　九十錢　松の緑　八十錢　正喜撰　七十錢　友白折　◎白折　髮物　一圓五十錢

◎御注文は壹斤以上御注文に限り鐵道便にて販上候　◎金高貳圓以上御注文は營業所宛に願上候　◎金小包料發店負擔　◎但金高二圓以下は送費半額

製造本店　山城宇治、乙訓久世

製茶問屋　京都七條東洞院角

營業所　井上六平

電話下一〇八七　振替大阪七二九三　東京六二一四

販賣御望の方は御照介願度候

大阪屋號書店　京城本町一　電話六四一　振替京城二五七三

運動具文房具色々著荷致しました

御用の節は早速御電話に入れます

最新刊

判例第一卷　東京裁判所編　四、七〇
近世應用鑛物精義　三版　二、六〇
實驗音響學　村岡範爲馳　二、五〇
東洋通史　高橋　一、六〇
早教育の天才　木村久一　一、四〇
獨逸國民の戰時經濟　七五
世界の過去現在未來　一、二〇
禪法と琴唄　二、〇〇
株式期米相場必勝の手引　二、二〇
悟道錄　山田孝道　一、〇〇
畫家と巴里　正宗得三郎　一、五〇
方丈記新評　佐野保太郎　四八
彌生帖　鏡花小史　一、四〇
世界偉人譚　一、〇〇
春の鳥　竹久夢二　八〇
わが愛誦歌　若山牧水　八五
幼きものに　島崎藤村　六五
旬集　炬火　五〇
歸去來　五〇
面白半分　宮武外骨　五〇

和洋諸紙印刷材料

京城長谷川町七十四番地

近澤商店

店員募集

但し商業に經驗有中等以上の教育有る確實なる保證人二名を要す年齡二十五歲以上志望の人は午前九時迄に自筆履歷書携帶本人來談あれ

京畿道

二分ノ一吋亞鉛引鐵管外二十二點右購買ス詳細ハ五月十一日以後ノ本府官報ニアリ

大正六年五月十一日

京畿道

法人登記公告

楊平地方金融組合監事金裕定、趙鳳植拾八日任期滿了ノ處再任シ京畿道楊平郡葛山面金裕定、趙杓植大正六年四月五日登記

右大正六年五月八日登記

京城地方法院楊平出張所

法人登記公告

加平地方金融組合監事李寬榮同金在樑同李益承ハ任期滿了ノ處大正六年四月武拾武日何レモ再選重任シタリ

右大正六年四月武拾四日登記

京城地方法院加平出張所

時計貴金屬指輪眼鏡商

京城本町二丁目

三浦天龍堂

電話一〇〇二番　振替京城三〇四番

松丸太各種荷揃

龍山印刷局前(電話五二一番)

竹村材木店

京日案内

普通一回(五十錢)番外一回(倍增し)

▲申込後中止の節は手附金返戾せず▲六回以上の御申込は特に割引▲御照會の節は返信料を添へられ度▲御申込の際は必ず數字の番號御記入を乞ふ

◉店員入用　但身體壯健の者にて保證人を要す　京城永樂町一丁目商品陳列館前　篠田　6

◉生後一ケ月の男兒御乳付ける方へ預けたし御希望の方は御通知又は御來談　京城南米倉町二四三　石井サナ　95

◉融通　月收の御方へ極秘迅速御報次第御來談　大和町三の三(旭館前)　起木屋　97

◉金融　官吏商人大小共秘密迅速御報次第參上　京城本町二ノ五　壽町　1

質商　支店及び開店に極々適當の店舖物品入れ附き至急讓渡したし(姓名任意)　一ノ通り山川醫院入る角　柏屋　96

◉代診入用　南大門通農銀裏　司生堂醫院　3

▼古本▼古樂器買受と立替　本町　ウツボヤ書店　電話二七　964

▼尺八▼明笛▼著荷　古樂器賣買　電話二七ウツボヤ書店振二五三　66

◉電話讓物あり　京城南山町三　電話三一〇三　吾鄕　94

石綿鑛區並石綿鑛　入買　京城南米倉町　蛇目鑛業所　内竹　92

魔法瓶　及魔法瓶中瓶取替　京城本町一丁目　電話一三四番　高木旅行用具店　4

◎はねつき　うちみ　くじき　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場　47

恩給年金立替　即時取引　短期無保險　京城若草町一七(金光教裏手)　電話三三九一番　國江商會　81

◎礦物定量分析　太平町二丁目二五　朝鮮公論社左橫小路　電話長三三四四　坂元分析所　86

恩給年金長期立替(五分利)　勸業債券　買受銀行爲替付　額面以上特別高價　放資之好期不可失　京城若草町六番地　電話二十一番　西村商會　905

電話開通三一四番　魚釣具餌商　京城永樂町二丁目　吉備商會　5

……植林實習を兼ね山林手入の爲め出張……同五日降雨を衝ひて無事歸校したり……部民は尠からぬ感化を受け……の徳風を刷新しつゝあり▲古蹟會……て何れも古蹟會の特色を發揮し午後一時に際しては……記念品を……の處五日歸校生徒一同へ講話する……漁撈百十隻支那戎克二十二隻日本小……五千餘尾に比較し本年は四百十一萬……昨年四月末迄に一千三百六十五萬……輸入……尚は輸入……年に及ばざるもの、如し……一部は奥地……

夏場所

（十三日午前零時着電）

◇二日目の勝負

勝　負　勝　負

若常陸　中の川　峰櫻　高千穗
手柄山　國ケ岩　殿り　稻葉嶽
金龍　成瀬山　三杉磯　八重高
大の里　峰の森　彌高山　若島
龍ケ崎　明　常の花　藤の川
岩木山　柏戸　逵の矢　浦の濱
大戸平　宇都宮
敷島　綾川
鳴門洋　釋迦嶽　一港　土州山
黒瀬川　小常陸
朝潮　對馬洋
鳳　逆鉾　大錦　眞砂石

右の勝負手捌きは▲中の川に若常陸は中激しく突掛け若の突き返へすを叩いて逃ぐる際踏切る▲高千穗に峯櫻は激しく突き合ひ高の突き進むを叩き込んで峯の勝▲國ケ岩に手柄山は國の押進むを捻つて手柄の勝▲稻葉嶽に殿りは右四ツにて殿り例の足癖に行くと見せ機を見て綺麗に捻つて勝▲金龍に成瀬山は右四ツにて鳥渡寄合ふ内更に右を入れて二本差となり呼吸を圖つて大きく打ちたる下手投を成瀬殘したるもそのまゝ寄倒して金の勝▲八重高に三杉磯は右四つ八重喰ひ下らんとするを起して一氣に寄り倒して三杉の勝は元氣▲峰の森に大の里鳥渡突き合ひ里左を當てゝ押すと見せ峰の堪へるところを突き落す▲彌高山に若島は右筈左筈にて押切り彌高の勝▲龍ケ崎に明は突合ひ龍敵の右手を手繰つて廻り込み突き出して龍の勝▲岩木山に柏戸は若木躍り上つて右上手を取り出し投げを打つて勝▲常の花に藤の川はバッタリ右四つに亙るを十八番の櫓投げにて常の勝▲逵の矢に浦の濱は逵激しく突きかけ左手に敵の腮を攻めて押し進むを浦土俵を廻りて殘し押へて左を差せば逵小手投を振り逵二無二に押切る

▲宇都宮に大戸平

は本社豫想[illegible]の好取組たり大戸立ち上りざま左手を上げて猛然と押倒して勝は大喝采

▲綾川に敷島

は二本差一氣に吊り出して敷の勝▲釋迦ケ嶽に鳴門洋は左四ツ釋迦首投げを下手投に打ち返して鳴門の勝▲一港に土州山は右四ツ一港强ふ下手投を打ちしが土州殘して反對に上手投を打返し殘るをそのまゝ寄縺れ込まんとするを土俵際に廻り込み縺れて土州踏切る▲小常陸に黒瀬川は黒瀬島合はず立合ひに暇取りて漸くにして立ち上るやバツタリ左四ツに亙り黒瀬の寄るを小常殘して反對に捩り出し寄り進む體一杯に寄り切を引倒して黒瀬の勝

▲對馬洋に朝潮

は朝の早く二本差寄り進み對馬の右上手を引かんとするを抜き上げ吊り出して朝の勝▲逆鉾に鳳は初顏合せなり逆突張るを鳳受けて右を差し一ツ捌ひて寄り切る

▲三日目の取組

（鳴門洋　大潮）（若島　逵の矢）（鶴ケ濱　龍ケ嶽）（八甲山　小常陸）
（柏戸　駒泉）（千葉崎　宇都宮）（敷島　宮城山）（大鳴門　岩木山）
（眞砂石　綾川）（錦島　兩國）（伊勢濱　源氏山）（大戸平　大錦）
（土州山　西の海）

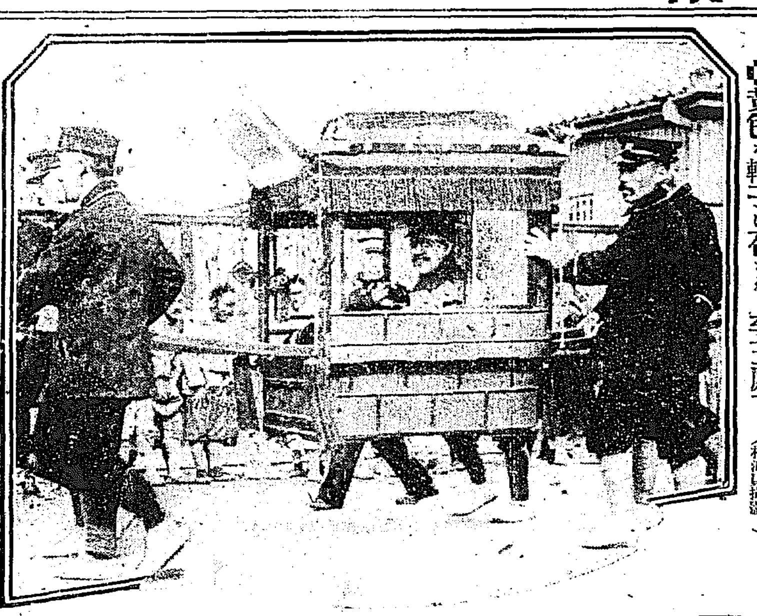
中入後

（琴ケ浦　彌高山）（明石　大の高）（浦の濱　清瀬川）（石山　逆鉾）
紅葉川　常の花（玉手山　栃木山）（藤の川　港川）（朝潮　九州山）
鳳　對馬洋（黒瀬川　釋迦嶽）

右の内紅葉川に常の花は本社の懸賞豫想取組にして共に新進氣鋭の好力士たり

▲中入後不著

東京京城間の電信線に故障を生じたるため東京大相撲中入後の勝負並びに手捌きの電報不著につき十三日夕刊に掲載の事とせり



◇黄色な轎子に召されし李王殿下（元山にて金谷特派員撮影）

◉名物の咸興梨を賞でらる

御展閲期日未定

咸興の十二日は夜來の細雨霏々として未だ晴れず李王殿下の本宮定和陵濬源殿を初め宗祖の各陵へ擬行御參詣も延期となり殿下は踏龍山上の道長官々舍にて咸興平野に打ち煙れる楊柳の雨を御觀賞あり猶名物の咸興梨を賞でられたりと又一般高齡者には酒饌料を下され猶き李氏一族の人々にも謁見あるべし（於咸興特派員發電）

◉北海道　樽前山爆發

十二日午前十時北海道樽前山再び爆發し十分間鳴動し盛んに噴煙中なり（東京特電）

◉前駐支獨公使の談話記事捏造者處罰さる

三月末前駐支獨逸公使ヒンツエ氏の談話記事を捏造して各新聞社に打電したる長崎市通信業者山本靜也（五二）は電信法違反に依り懲役六箇月に處せられたり（大阪特電）

◉山火事頻々　全北と黃海道

黃海道遂安郡大坪面大村里西方の觀巢山國有林より四月二十三日午後二時頃發火し里民八十名出動十八町歩（二十圓）を燒き拂ひ二十五日午後五時鎭火せり■殷栗郡一道面生山里九月山中の牛山里より二十三日午前十時頃發火し五十餘名の農民消防し國有地三十三町歩（損害十圓）を燒き二十四日午後四時鎭火す■長淵郡候南面上佳洞西方の佛院山の支脈より二十四日午後一時頃發火し五百餘名の人民出動して消防したるも山嶽險しく國有山地百五十町歩（損害百圓）を燒失し三晝夜の後なる二十七日午後一時頃鎭火せり■新溪郡縣西面泉谷里露積峰の國有山地より二十五日午後七時頃發火し里民九十名出動消防し國有林十二町歩（損害百五十圓）を燒失し二十六日午後十一時鎭火せり同里の金斗煥（三五）は消防中遭より墜落負傷したるも生命に異狀なかるべしと■平山郡文武面の國有地より二十五日午後一時頃發火し三十町歩（十圓）を燒き二十六日午前一時鎭火せしが里民百三十名出動せり以上發火の原因に就いては官憲にて取調べしが槪して無許可にて山野に入火し大事に及びたるもの多しと次に■全北鎭安郡富貴面五石里馬谷峠の國有林より去る二十四日午後一時頃發火し里民五十餘名出動防火し四十餘町歩（損害四十圓）を燒失して同夜十一時鎭火せり

◉赤愛聯合總會

新義州に於ける十二日午前十時より日本赤十字社、愛國婦人會聯合總會を開催來會者は社員、會員約七百名新義州客前の盛況裡に午後四時散會せり（新義州特電）

◉難破船數隻

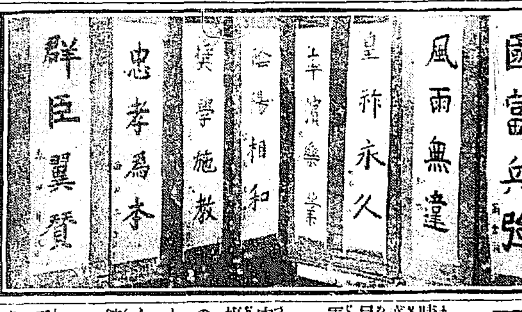
全南蝟島鞍馬島附近海上に於て去る二十八日頃漁船六隻顛覆せりとの急報に接し二日搜索の爲めに出動せる木浦署警備船第一第三鵲丸は五日法聖浦港に引き返し風波沈靜の上更に第二搜索に向ふ豫定なりとのことなるが蝟島よりの報告に依れば顛覆船中二隻を發見し内一隻には內地人漁夫一名死亡し居れりと因みに乘組員數氏名等尙不明にて他の四隻の遭難船は未だ行衞不明なりと

◉朝新演藝會初日

朝鮮新聞にては曩きに雨天中止となれる開城觀桃會の代りとして十二、十三の兩日壽座に演藝會を催し會員その他多數を招待したるが當夜の演藝番組は三券藝妓の手踊り、長唄、常磐津、淸元等その他にして孰れも喝采を博し七時には札止めとなれる盛況なりき

◉京電京郵庭球戰

京城電氣株式會社對京城郵便局庭球戰は十三日午前八時より京城郵便局コートに於て會戰す



右より高宮國、鈴木花、大喜多一榮、木曾駒次郎、鳳深久子、遠藤さき、西三三治、森田菊代

……ろに決せるが京城側は午後一時より更に京銀行コートに於て鮮銀庭球部と會戰する由

◉仲居も板場も藝者も大汗で習字

千代本の家庭揮毫會　優等者には褒美澤山

千代本では女將が例の書家森雲耶山人の門に入つて筆硯に親しんでゐるところから上の見習ふところ下之れに倣ふで一家一門、一族郎黨の仲居のお花、お玉、お菊、おさきから帳場、板場、集金係りまでその外富美廼家千代香、光菊等何れも稽古を始めて來だ一箇月餘り、十回ばかり

◇教授を受けたに過ぎないが何れも夜遅く宴會の濟んだあとで熱心に勉强したにしては成績良好で習つたり、隔日に早朝から教を受て家庭揮毫會といふのを開いた、そして前記の連中が

◇淸書したものを展げて森耶山人の批評を仰ぎ出入の者に觀せたりしたがいゝものには千代女將から賞品を出して勵みをつけたりしてゐた

◎蘭嵐會例會　京城若草町曹洞宗別院にては十三日午前九時より蘭嵐會例會を開催する由

◎京城基督教會（南米倉町）五月十三日午前九時より日曜學校及び禮拜說教同十時より『必須の叫び』渡瀨牧師午後八時半より『强力の傳道』宮川牧師

◎廿泉亭開店披露　奨忠壇鍍六庭跡を今般永村信夫氏引受け廿泉亭といふ喫茶店にて普席料理屋開業する事となり十三日午前十時各方面の花客を招待して披露をなす由

極東オリンピック大會

▼掉尾の盛況　賞牌授與式

晴れ續きたる極東競技大會も愈々盛況裡に其の幕を閉ぢむとする五日目の十二日は朝來曇天にも拘らず各軍最後の奮鬪振りを見むとて

◇殺倒する樣　凄まじく就中日本の全勝を期する水泳の第三會場比軍復仇の意氣に人を呼べる野球の第二會場等溢るゝ許りの入場者あり掉尾の盛況裡に芽出度大會を終了し午後七時三十分よりは神田青年會館にて

◇賞牌授與式　あり三國選手一堂に握手して各自其優勝を表彰されたる上和氣藹々たる裡に散會せり尙第四、五兩日の行賞者左の如し（東京特電）

▼水上競技　▲競泳五十碼第一著二十六秒五分の一齋藤兼吉（高師）▲二百二十碼胸泳第一著三分廿九秒高嶺養春（大阪青年會）▲二百二十碼第一著二分四十六秒五分の一內田正練（札幌農科）▲四百四十碼第一著六分四十六秒五分の四能重道太郎（房中）▲十碼第一著一分五秒▲齋藤兼吉（高師）▲百碼脊泳一著一分二十三秒三好康和（帝國水產）▲八百八十碼一著十三分四十二秒五分三內田正練（札幌農）

▼日本卅哩自轉車競走　一著（一時間二分五十二秒）池田淸次郎（慶應）バスケット、ボール日本對比律賓にて比律賓の勝、棒高飛一等（十呎六吋）丁熙春（支那）庭球開試合一等日本熊谷、庭球試合優勝日本（選手熊谷一彌、三神八四郎）

▲つい此の間も京城には碌でなしの犬がウヂャ〳〵居つて困るとの山縣鑑湖先生の話しであつたが▲獵犬とか可愛らしい狆でも飼つて置くなら未だしもだが朝鮮犬やら混血犬やらを無暗に飼つて置く事は考へ物だ▲前夜も知人の某が古市町の某店の前を通り掛ると其の店の犬が突然飛出して來て咬み付いた▲咬付かれた方では驚いて終つたが犬と御主人とは一向平氣なもので『此の犬が人に咬付くのは珍らしくない事で』と濟し込んで御座る▲そんなに人に咬付く犬なら殺して終つたら良からうと注意すると『此の犬はよく人を咬みますが狂犬では有りません、それに税金を出して居ります』といふ返事だ▲畜犬税を納めて居れば人を咬んでも敢て差閊へないと考へて居るらしいが大變な間違ひだ▲畜犬税は犬の所有權税で咬付き御免の税金でないといふ事が判つて居らぬらしい▲此んな亂暴な犬と亂暴な御主人に居られちや通行人こそいゝ迷惑だ……とは某氏の憤慨話

家族的大野遊會は今日

午前八時開催の煙火を漢陽公園で打上げる煙火が鳴らなければ開催せず

かつけに糠精

全國有名藥店にあり

證明書

實驗上尾崎氏糠精の脚氣病に偉効ある事を證明す

陸軍一等軍醫正　ドクトル　都築甚之助

村井弦齋先生命名實驗証明

發賣元　東京中澁谷町尾崎兄弟商會

特價

ムギワラ帽子

定價表

（イ）號　金五十錢
（ロ）號　金七十五錢
（ハ）號　金一圓
（ニ）號　金一圓廿錢

但し個數に制限あり　一刻も早く御買上を乞ふ

京城本町　ツカタニ　出張店　電一三六番

東京特許辨理協會

特許出願取扱

○本會ハ老練ナル特許辨理士ノ連合ナリ
○特許、新案、意匠、商標事件ヲ懇切ニ取扱フ
○發明ノ內容ヲ申出テアレバ無料ニテ許否ヲ鑑定回答
○申出ニ依リ略則呈出

東京大久保百人町

野遊會や船遊びには芳醇無比泡立細かきサクラビールに陶然として醉ひ給へ

京城本町二丁目
神戸　鈴木商店　京城出張所
電話長二二九〇　二二九四番

最上醬油

朝鮮仁川港

高杉醬油釀造場

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

百六十三　心頭の波瀾『三三』の二

又二三日は、空しく過ぎて了つた。幸三郎は今日こそ落款印章を入れて最終の完成を告げやうと思ひつゝ、雨曇りの空を氣遣ひながら、番傘を横抱きにして矢來町の陋宅を立ち出た。毎度もながらの平凡な道を辿つて、春日町の交叉點から原町の方へ曲つて三四町行きかゝると、其處で出會頭に一個のみそぼらしい老婆と顔を見合つた。世は既にフランネルの單衣か、氣の早い者は地厚の浴衣を被て居る時節だのに、老婆は襟の

垢染た古袷に髪はいぼじり巻の半病人とも云ひたい風情である。

『貪欲の幸さんぢやありませんか』

我が名を呼ばれたので、幸三郎はハツト思ひながら立ち止つた。見たやうな顔だがと、瞳を据ゑつゝ、熟とその顔を見直して視ると、姿こそ變つたれ、それは紛れもなく白宮のお久であつた。

『おツ、白宮の小母さんでしたね。御機嫌好う』是だけは義理の挨拶で已むを得ないのである。

『幸さん、何にも言ひません、赦して下さい。貴郎や絹代を散々苦めた天罰で僅かの間に、こんな態になつて了つたんですよ。一人ほかない慾吉の奴け、妾を捨てゝ自分勝手の所へ行つて了つたし、五番町の家はもう疾の昔に店立を喰はされたやうな始末でね……本統に面目次第もないんですが、實はね、今日もまだ朝の御飯を喰べる工夫も付かずに、的もなく斯うして彷徨つて居る所なんですの。今更後悔に後悔を重ねて見ても、追付きツこはないから、一層その事にもう…………』

と言ひさうにして、お久は往來の人々を氣遣ふやうに爲ながら、袂に顔を掩つた。

『いや、眞に後悔をなすつた譯なら僕だつて何も過去つた事を繰返す必要はありませんが、五番町を立退た後は、一躰まあ何處にお在なんです』

織娘の絹代が、つい十丁とは隔てぬ原町の淨玄寺内に潜み居る事を知つて居るので、幸三郎はそれを敎へてやるのは雜作ない事であるが、天性貪慾殘忍のお久は、乾度又從來以上の惡策を廻らして絹代を醜い淵に沈めるに違ひないと信じたから、それ丈は先づ口を噤むで、お久の現居所を訊いて見たのである。

『……お恥しう御座いますけれども昔知つた人の家に間借して居るんです。こんな時には本統に幸さんの前ですけれども、若い時に産み落すと直ぐ襞の上から他手に渡した骨肉の娘の居場所でも分つて呉れたら……と、且暮途方涙に暮れて居るんですの』と、お久は、兩眼から熱い涙をほろ／＼と滾しながら噂ち沈んだ。

『へい―すると小母さんにはあの、慾吉さんの外にもまだ眞實の子と云ふものがあるんですか。そりや初めてお聞きするこツてすね。』

『恥をお話しますけれども、白宮へ嫁るズツと／＼以前に、浮氣稼業の結果から出來た一人の女兒があるんです。名前はお袖と付けたんですがね、或人の世話で、その子は親不知で葭町の藝妓屋へ呉れて了つたんですの。無事で居ると恰度今年で二十六になるんですが……』

『お袖……？』幸三郎は、我が顔の色の變つたのも知らずに驚いて且呆れた。氣の加減かも知れぬが、その細面から眼元の邊にも、何處やら彼の袖子夫人と似通つて居るやうな點があるやうに思へたからである。

『では、葭町の藝妓屋へその子を……』

『とてもその子の成行きなんかは、今探さうと云つても無理な話ですから、斷念めては居ますけれどもね、それでも又貴郎なんかは世間を廣くお歩きになるんですから、萬々一にもお心當りの事がありましたら、氣を付けといて頂きます。』

『小母さん、お請合は出來ませんが能くそれに似寄つたやうな話を聞く事もありますから、充分に氣を付けて置きませう。そして、貴女の今お在になる所番地を言つといて下さい』

『なに、小石川の第六天前で、檜山と云ふ駄菓子屋の二階と云へば、分りますね。』

『好う御座います。こりや小母さん、ほんの僅かですが、僕も相變らずの素寒貧ですから、持合せの電車賃を差上げませう。』

幸三郎は、恒い／＼敵ながらも斯う遙かに零落し果た有樣を見ては、流石同情一掬の涙を灑がずには居られなかつたのである。苦い中からも幾干かの小使錢を與へて、振返りがちに男爵邸へと急いだ。

『幸さん、赦して下さい。貴郎から貰ひ一錢のお惠みだつて受けられた義理ではないんですがね。』と、お久は、手を合はせぬばかりにして、涙を拭き／＼幸三郎が姿の見へずなるまで伏し拜んだ。

十番饅頭
朝鮮京城本町二丁目　青木商會製菓部謹製　電話二三八〇番
人蔘マルモラード　松實ケンデー　栗納豆　三色納豆

名刺　京城　太平堂　電話二七二　振京二三七

新刊紹介

△新舊對照朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽　越智唯七著　本書は大正二年十二月二十九日附を以て發布せられたる朝鮮總督府令第一一一號道の位置管轄區域及び府郡の名稱位置管轄區域を基礎とし之れに其後の異動及各道の大正三年一月以降の道令告示を加味し大正六年四月十日現在に依り編纂したるものにして道郡面里洞名中新舊の中其の一を知る時は直ちに新舊對照の名稱系統を明かにするを得るのみならず府郡面及面事務所の所在地をも併せ知るに便ぜるを以て諸官署公衙は勿論商工業者務家必携の良書たり猶ほ卷末に朝鮮全道に關する沿革其他を附錄す(三圓京城公平洞五七中央市場)

△江原道種苗場報告(六)　同種苗場に於ける大正五年度事業成績の梗概を敍述せるもの(價不明江原道廳)

△朝鮮彙報(五月號)　發電水力調査(遞信局)森林發蟲中に發生せる害蟲驅除法(村田康太郎)森林副産物たる植物性油脂(植木秀幹)高麗人蔘の今昔(吉原家正義)等を初め産業欄には平北泰周郡に於ける採桑事業、江原道産松の實、新義州に於ける杞柳地に、木製造統計欄には朝鮮貿易及經濟概況、鐵道統計等あり其他各欄亦例(二十五錢朝鮮總督府)

△朝鮮公論(五月號)　朝鮮の對外航路網を論じて當局及朝郵重役に警告す(社説)支那は斯くの如くにして開發すべし(澁澤男)朝鮮農界の刷新は水利事業完成に在り(川上常郎)支那鎮領視察所感(小原新三)大陸進展と鮮銀活動の現狀(大田三郎)對支問題と支那の參戰(内田良平)及び政戰の意義當々と貫徹すなる題下の原敬田健治郎後藤新平外三名士の說等を初め花月號講學心中奇縁の見たる女房商業界文苑等依例賑かなり(二十五錢京城太平町二其社)

△京城商業會議所月報(四月號)　調査には朝鮮發錫情況及穀良穀類の販賣及移出狀況朝鮮の柞蠶業京城に於ける金融概況商況物價表諸勞工賃金表其他を發表し貿易運輸交通通信參考資料等の各欄如例(十五錢京城商業會議所)

△滿鮮之工業(三週年記念號)　朝鮮工業の將來(小原新三)振興せる朝鮮の事業界(青木戒三)職親に鑑み朝鮮の富源を論ず(小野久太郎)又振興せる工業の持續策なる題下の商農務局長外六博士の論說等を初め審議の經濟に徵し鑛業の前途を樂觀す(荒井初太郎)鑛業を如何に利導すべきか(樂沫生)等見るべきもの多し(二十錢京城長谷川町八四其社)

△大陸之青年(創刊號)　三宅雪嶺板垣退助押川方義其他十數氏の大陸青年の使命に關する論說を卷頭に大西郷の獅子吼支那と基督敎布敎の力の源及支那に於ける文藝部に於ける輸入物品大連港近の史跡及史上の青年大陸的志士の面影其他數十篇欄[illegible](二十錢大連浪速町[illegible]其社)

△鮮滿の工業(三週年記念號)　二十錢京城長谷川町八四其社

△朝鮮基督教時報(五月號)　五錢京城貞洞一八八其社

△京城商業會議所月報(四月號)　十五錢京城商業會議所

△ミツワ文庫(四八)　十錢東京本所區[illegible]町四丸見屋商店

△藝苑時報(二四)　十八錢東京々橋區築地明石町三三其社

△水産界(五月號)　二十五錢東京麹町區[illegible]町[illegible]

△月刊雜誌(五月號)　八錢東京々橋區銀座四の四山野樂器店

△青年界(五月號)　十錢東京神田區三崎町三の一青年社

△文藝月報(四月號)　價不詳東京々橋區南八丁堀一の一東洋文藝株式會社

△八格と幸福(五月號)　六錢京都區[illegible]小路通[illegible]

△婦人週報(三の一八)　四錢五厘東京牛込市ケ谷田町二の一七其社

△支那研究資料(創刊號)　一圓大連市浪速町一八大陸社

△人相新聞(二)　五錢東京芝區芝南佐久間其社

△食物の養生(五月號)　十三錢東京牛込市ケ谷[illegible]町石塚食養所

△趣味之友(五月號)　二十五錢東京麻布笄町一八〇其社

△思潮(創刊號)　特價三十錢東京神田南神保町一六岩波書店

△常磐木(五月號)　十五錢東京小石川東青柳町二九其社

△大日本新聞(二三四)　五錢東京麹町有樂町一の四其社

△鶴の卵石鹼の發展　東京市馬喰町澤井商店の發賣に係る鶴の卵石鹼は二十年以上の歴史を有し一般に愛用者を有する優良なる石鹼なれども最近は一時原料の大改善を行ひたれば益用者頓に増加せりと云ふ本品は内地は勿論臺灣、朝鮮、滿洲方面にも販路を有し益々發展の途運にあり

△レート化粧料の光榮　長くも皇后陛下には去る四日東京上野公園に開催中の奠都五十年博覽會に行啓遊ばされたるが同博覽會に出品中の東京平尾贊平商會レート化粧料に御目をまらせられしと見に同化粧料は皇后宮職より御買上の恩命に浴したり　レート化粧料が品質優良にして多く類を見ず宮内省皇后宮職各宮家の御用品たる光榮を有するは既に世に知られたる所なるが今また奠都博に行啓御買上の榮を賜はりたるは常にレート本舖の名譽たるのみならず化粧品界の榮達更らにレート愛用者の光榮とも云ふべきなり

京城電氣株式會社製品　朝鮮瓦斯電氣株式會社製品　コールター　一手販賣　巴商行　樋口米太郎　龍山漢江通八番地
石材販賣　眞鍮其他鑄造製作(但し弊所持山)　同工場(電話四二四番)
久保田鐵工所代理　神奈川電氣株式會社代理　同支店　京城黃金町三丁目三四〇番(電話一四二五番)

醇良無双清酒　無害衛生　品質無双　登録商標　有薫
釀造元　福岡縣城島町　首藤合名會社
發賣元　京城府黃金町二丁目　首藤京城支店　長電話一一七一番
釜山港幸町　首藤釜山支店　長電話三四三番

地方御注文は特に便宜迅速御送付可致候
和洋金物一式
京城本町三丁目　佐藤半次郎商店　電話二四三番　振替京城二三〇番

榮養ヲ増進シ　精力ヲ旺盛ニス
グリコナール錠
本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル榮養劑ニシテ五〇%ノグリコゲーント蛋白脂肪、越幾斯分ト滴量ヲ含有ス
一般虚弱、心臟機能衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者等濃厚滋養料ノ充足ヲ要スルモノニ對シ榮養ヲ增進シ精力ヲ增加ス　賣藥舖ニ有リ說明書進呈ス
東京室町　三共株式會社

眼科專門
京城本町四丁目カルヽス温泉横(電一五五六)
日曜祭日午前中
金井眼科醫院　金井豐七

大日本優等清酒　ハツクル　品質純良　衛生無害
攝津灘御影町　釀造元　嘉納合名會社
京城本町二丁目廿番地　發賣元　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

貯蓄預金　元金百圓ニ付日歩壹錢三厘金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店　株式會社十八銀行京城支店　京城黃金町電話四二〇番五八〇番　振替貯金口座京城八一四番
同　龍山出張所　龍山元町二丁目　電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

池田季雄
イゲダ小兒病内科醫院
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目　電話(醫院二三四番　自宅八八〇番)

下總國野田町
茂木七郎右衛門釀造
特約店
明治町一丁目
牧野商店　電話二五三番

最上醤油　キハク印

醤油の撰擇を誤る年中の損
試み給へ關東唯一の絶品キハク醤油
釀造高全國に冠たり年額六萬二千石
最大の釀造高は最大の購買力に基けり
最大の購買力は品質優越の實證

一服つかせぬ　最良薬
カギヤピリン
◆面白い程よくきく良薬なり◆
かぜ薬は必ず本劑を服ご定て常に家庭に備へ少しでもかぜの氣味あらば彼悪き手遲せぬ樣直ぐ服用せよ
◆小兒には專用の小兒カギヤピリンあり◆アンチピリン
◆面白い程効あり
アンチヘブリン　アスピリン等類似の他品あり
御注意　藥價　五錢●十錢●廿錢●卅錢●一圓
本舖　名古屋京町二　荒川長太郎

贊化病院　京城本町二丁目　電話二四〇番
醫學博士　古城憲治
醫學士　上野亮藏
内科　小兒科　入院隨意
毎日五名を限り無料施療す

大口質　大歡迎　京城黄金町長橋町入　電話二九一六番
商品擔保便利取扱
田村質店

大邱浦項間自動車時間
大邱浦項間自動車所　大邱出張部　電話二一番

金泉醴泉間自動車時間
金泉織居自動車支部　金泉電話四八番
△小荷物運搬御引受仕候

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
大有丸　五月十五日　午後四時出帆
君が代丸　五月二十日　午後四時出帆
吉丸　五月　日　後四時出帆
秀代丸　五月　日　後四時出帆
仁川海岸通三丁目　電話五十九番　商杉回漕部

日本郵船仁川出帆
大連行、太沽(天津)、牛莊行
相模丸　五月廿三日　正午出帆
撫順丸　六月三日　正午出帆
三河丸　五月十三日　後十一時出帆
仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕店

共同汽船仁川出帆
阿波、大連行
下ノ山丸　五月十二日午後入港　五月十四日前十時出帆
會芝罘、大連行
仁川代理店　野口商會(電話一七三番)
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目(電話二四〇番)

汽船釜山出帆廣告
○和歌浦丸　門司、神戸、大阪行　五月十八日　後五時出帆
○立神丸　五月　日後五時出帆
○元山丸　仁川、清津、浦鹽行
○和歌浦丸　五月十七日　後十時出帆
○立神丸　五月　日後四時出帆
○元山丸　西湖、新浦、城津、清津行　月　日後六時出帆
○第三琴平丸　門司、宇品、神戸、大阪行　月　日後六時出帆
○佐須奈丸　嚴原、壹岐、博多行　毎月二日九日十六日廿三日　午後十時出帆
○天眞丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航路所屬航路(清津航路を除く)有連絡御乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
◎關門、神戸、大阪行　汕頭丸　五月十六日　後二時出帆
汕頭丸　五月廿九日　後二時出帆
群山、神戸、大阪行　須磨丸　五月　日　後五時出帆
○木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行　安東丸　五月二十日　後二時出帆
安東丸　六月七日　後二時出帆
○横濱行　漳州丸　五月廿九日　後二時出帆
福州丸　五月卅一日　後二時出帆
◎南浦、關門、神戸、大阪行　須磨丸　五月廿二日　後二時出帆
◎鎮南浦、大連行　安東丸　五月十五日　後二時出帆
安東丸　六月二日　後二時出帆
◎大連直航　漳州丸　五月廿四日　正午出帆
福州丸　五月廿六日　正午出帆
◎西湖津新浦城津清津行(元山出帆)　宮島丸　六月四日　後十二時出
◎清津行(元山出帆)　宮島丸　五月十七日　後十二時出
◎上海、基隆、打狗行(大連出帆)　湖北丸　五月十八日　前六時出帆
基隆丸　六月三日　後四時出帆

御注意
●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道各社と御連絡切符發賣仕候●御乘船客は一時間前に御乘込可被下候●無印は船客御斷り△印は船客御斷り
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話一二番　二一〇番　五八番
切符發賣所　内國通運會社京城支店　電話七〇八番
切符發賣所　仁川京城驛前　開城旅館　電話二六一番

朝鮮郵船出帆
本社　電話長一九五二番二一二三番
京城南大門驛前　松原運送店(電話長一七〇番)
鐵道會社及社外船と聯絡の便あり直通運送の取扱をなす京城出張所代理店並に釜山各港寄航取扱店に御照會ありたし
○江原丸　五月十三日　釜山發
○京畿丸　五月廿四日
○黃海丸　五月廿九日
○咸鏡丸　五月十九日
門司より釜山各港寄港清津基出航路
○穩城丸　五月　日　元山發
○昌平丸　五月　日
○鏡城丸　五月　日
元山より各港經由北航行
○昌平丸　五月　日　元山發
雄基寄港長崎行
○盤德丸　五月　日　釜山發
甘浦、九龍浦、浦項經由各港寄港迎日行
○江陵丸　毎日　釜山發
○襄陽丸　日　浦項發
長生浦方魚津寄港
○三浦丸　五月　日　釜山發
長承浦、巨文島、濟州島各寄港
○海州丸　毎日　釜山發
○統營丸　○巨濟丸
各港經由長水浦行(毎日一便木浦行)
○平壤丸　五月十四日　元山發
城津清津雄基寄港(浦鹽行)
○順天丸　三日目毎ニ　木浦發
各港經由山麓木行(釜山行に接續)
○慶興丸　五月　日　木浦發
各港經由濟州島行西廻
○慶興丸　五月十三日　木浦發
南多島海列島行　三國
○公州丸　五月十六日　木浦發
各港經由濟州島行東廻
○麗水丸　五月十四日　仁川發
○晉州丸　五月十八日
各港經由南浦木浦行
○宗信丸　五月十五日　仁川發
海州他各港經由鎮南浦行
○全州丸　○南陽丸　毎日午前　仁川發
牙山灣、華江島、楠島海州行